

令和4年度

ふるさと川南の教育



川南町教育委員会

川南町民憲章

わたしたちの町川南を、

豊かで明るく住みよい町にする
ために、この憲章を定めます。

一、融和と開拓精神にもえている町民で
あることに、誇りをもとう。

一、郷土発展のために、心魂をかたむけてきた
先輩に、感謝のまことをささげよう。

一、近隣愛にもえ、豊かなくらしをするための
物づくりに、力をあわせよう。

一、ひとりひとりの可能性を信じ、未来を
ひらく青少年育成のために、力をあわせよう。

一、自然を愛し、健康で明るい家庭と社会を
つくるために、力をあわせよう。





令和4年度 ふるさと川南の教育

～ふるさと川南を愛し 未来を拓く 心豊かでたくましい 川南の人づくり～

川南町教育基本方針

本町の教育は、教育基本法、県教育基本方針、県人権教育基本方針に示された人間尊重の精神を基調とし、さらに川南町第6次長期総合計画基本計画、川南町教育大綱(第2次教育振興基本計画)を受け、川南町教育基本方針を定め、学校教育及び社会教育を推進する。

Ⅲ 教育を支える体制や環境の整備・充実

- 1 教職員の資質向上と学校における働き方改革の推進**
 - ・ 教職員研修の充実とOJTの積極的な推進
 - ・ 川南町教育研究所の研修充実と研究員との連携による研究内容の推進
 - ・ 働き方改革に係る学校・家庭・地域の連携・協働体制づくりの推進
- 2 安全、安心な教育環境の整備・充実**
 - ・ 児童生徒が主体的に行動できる実践的な防災教育等の推進
 - ・ いじめの未然防止に係る具体的な取組の推進
- 3 魅力ある多様な教育の振興・支援**
 - ・ 新設中学校整備に向けた学校種間のより一層の連携と具体的な取組の推進



東小 もちつき体験



多賀小ふれあい活動



山本小 奴踊り



唐瀬原中職業講話



国光原中 小中クリーン作戦

Ⅰ 町民が生涯を通じて学び 教育に参画する社会づくりの推進

- 1 生涯学習の推進**
 - ・ 生涯学習まちづくり推進計画に基づく取組推進
 - ・ 生涯学習に関する情報提供の充実
 - ・ 学びの場となる生涯学習講座の企画・実施
 - ・ 社会教育施策と福祉施策を一体化した放課後児童クラブの充実
- 2 地域と学校の連携・協働の推進**
 - ・ 地域学校協働活動の推進体制の整備、充実による「Team Kawaminami 学びのネットワークづくり事業(地域学校協働本部事業)」の展開
 - ・ 地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの連携強化

Ⅳ 文化やスポーツに親しむ社会づくりの推進

- 1 文化の振興**
 - ・ 文化連盟の活動支援
 - ・ 特色ある文化資源の保存及び情報発信と活用
 - ・ かわみなみ歌声あふれるまちづくり事業の充実
 - ・ 町図書館、文化ホールの利用支援
 - ・ 文化財を活用した生涯学習講座の企画・実施
- 2 スポーツの推進**
 - ・ 各種スポーツ団体の活動の充実・連携推進
 - ・ 地域住民自ら主体となって運営するスポーツクラブの在り方の検討
 - ・ 学校における体力づくりの推進
 - ・ 食育及び健康教育の推進
 - ・ 宮崎国スポ開催に向けた準備

体育



川南小 よのなか教室



通山小 浜うどん作り

Ⅱ 社会を生き抜く基盤を培い 未来を担う人財を育む教育の推進

- 1 読書の町づくりの推進**
 - ・ 読書機会の充実を図るための学習活動の推進
 - ・ 町立図書館と連携した読書活動の充実
- 2 幼児期の教育の充実**
 - ・ 幼保小連携・接続体制の整備
- 3 確かな学力を育む教育の推進**
 - ・ 各種学力テスト等の分析結果を生かした組織的な取組の推進
 - ・ 学力向上及び授業改善をねらいとした学校支援訪問の充実
- 4 人権を尊重し豊かな心を育む教育の推進**
 - ・ 人権感覚を高める人権教育の推進
 - ・ いのちを大切に教育の推進
- 5 特別支援教育の推進**
 - ・ 各学校における校内支援体制の充実
- 6 郷土を愛し地域社会に参画する態度を育む教育の推進**
 - ・ 開拓の歴史や川南の自然・文化財等を活用した「ふるさと学習」の充実
 - ・ 地域における体験活動の推進及び地域活動に参画できる体制づくりの推進
- 7 キャリア教育の推進**
 - ・ 小学校から中学校までの9年間を見通したキャリア教育の推進
 - ・ 地域との連携・協働による体験的・実践的なキャリア教育の推進
- 8 社会の変化に対応した多様な人財を育む教育の推進**
 - ・ 外国語指導助手(ALT)や地域在住外国人の活用による国際理解教育の推進
 - ・ 実践的なコミュニケーション能力の育成を図るための外国語教育の充実
 - ・ 教育の情報化に係る環境の整備・充実

知育

徳育

目 次

宮崎県教育基本方針・宮崎県人権教育基本方針	1
令和4年度川南町教育委員会 実施目標	2
令和4年度川南町一般会計予算と教育課関係予算の内訳	4
川南町教育基本方針・川南町人権教育基本方針	6
令和4年度ふるさと川南の教育の推進にあたって	7
1 目指す町民像	7
2 基本的な考え方	7
3 総合的かつ計画的に取り組む施策	9
4 令和4年度重点事項について	11
5 具体的施策	13
6 令和4年度教育課事業計画	16
令和4年度川南町立小・中学校の学級編制状況	26
令和4年度から令和6年度までの児童・生徒数及び学級数増減見込み	27
令和4年度学校給食計画	28
川南町教育支援教室（フロンティアルーム）概要	29
令和4年度教育課施策（概要図）	30
令和4年度川南町小・中学校校長会組織表	31
令和4年度学校医・学校歯科医及び薬剤師	33
令和4年度教育事務分掌表	34
学校経営方針概要及び職員配置	37
川南町立川南小学校	38
川南町立通山小学校	40
川南町立東小学校	42
川南町立多賀小学校	44
川南町立山本小学校	46
川南町立唐瀬原中学校	48
川南町立国光原中学校	50
令和4年度川南町立小・中学校研究主題	52
令和4年度川南町教育研究会の研究活動に関する基本計画書	53
学校紹介	56

【宮崎県教育基本方針】

本県の教育は、あらゆる教育の場を通じ、教育基本法にうたわれている人間尊重の精神を基調として、

「たくましいからだ 豊かな心 すぐれた知性」

をそなえ、郷土に対する誇りと柔軟な国際感覚にあふれ、新たな時代を切り拓いていく気概を持ち、心身ともに調和のとれた人間の育成をめざします。

【宮崎県人権教育基本方針】

「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である」と世界人権宣言はうたっています。すべての人はいかなる事由による差別も受けることなく、生命、自由及び身体の安全を確保し、それぞれの幸福を追求する権利を有しています。

本県においては、これまで宮崎県同和教育基本方針等に基づいて、真に差別をなくしていく意志と実践力とをもった人間の育成を目指し、日本国憲法に保障されている基本的人権にかかわる課題の解決に努めてきました。

しかし、今なお、同和教育をはじめ、女性、子ども、高齢者、障がいのある人などに関する様々な人権問題が存在しています。さらに、国際化、情報化、少子高齢化などの社会の急激な変化に伴い、新たな人権問題も発生しています。

そのため、宮崎県教育委員会では、これまでの取組の成果や課題、「宮崎県人権教育・啓発推進方針」の趣旨などを踏まえ、次のように人権教育を推進し、県民一人一人が人権について正しい理解を深め、人権を相互に尊重し合い、共に生きる社会の実現を目指します。

- 1 学校教育においては、幼児児童生徒の発達段階及び学校や地域の実情を踏まえ、幼稚園（保育所）、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等が相互に連携を図り、全教育活動を通して人権についての正しい知識を身に付け、人権を尊重する意識や態度を育成し、実践力を養うことに努めます。
- 2 社会教育においては、各種学級・講座等の機会において、基本的人権の尊重を基調とする学習を充実し、人権が一人一人の身近な問題であるとの認識を深め、日常生活において人権への配慮が態度や行動に現れるような人権感覚の高揚に努めます。
- 3 家庭教育に関しては、保護者に対する学習機会等を提供し、幼児期から豊かな情操や思いやり、生命を大切にする心、社会的ルールへの尊重、善悪の判断など子どもの健全な人間形成の基礎を育むことができるような支援を行うとともに、大人も子どもも共に人権感覚が身に付くように努めます。
- 4 人権教育を積極的に推進するため、人権及び同和教育をはじめとする様々な人権問題に関する深い認識に基づいた、真に差別などのあらゆる人権侵害をなくしていく意志と実践力とをもった指導者の養成や研修の充実に努めます。

本方針の実施に当たっては、教育の中立性を確保するとともに、市町村教育委員会及び関係諸機関との連携を図りながら、広く県民の理解と協力を得て推進します。

3 教育委員会が管理執行する事務

項 目		実 施 事 項
大	中	
2 教育委員会 が管理執行する 事務	(1) 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること。	事務の管理及び執行の状況等について随時報告を求める。
	(2) 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること。	関係法令の改廃や住民ニーズとの整合性を確認の上、審議決定する。
	(3) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること。	状況に応じ審議決定する。
	(4) 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。	関係法令に基づき、協議決定する。
	(5) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定による点検及び評価に関すること。	自己評価及び評価委員による評価を実施した後、その結果を公表する。
	(6) 歳入歳出予算のうち教育に関する事務に係る部分その他特に教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申出に関すること。	状況に応じ審議決定する。
	(7) 教育振興基本計画に関すること。	本計画の策定状況について随時報告を受け、教育委員の意見が十分に反映されるようにする。
	(8) 教科用図書の採択に関すること。	教科用図書採択地区採択協議会の会議により、次回採用の教科用図書について協議を重ね、決定する。
	(9) 通学区域に関すること。	川南町通学区域規則に基づき、状況に応じて審議決定する。
	(10) 文化財の指定及び指定の解除に関すること。	状況に応じ審議決定する。
	(11) 附属機関の委員の任免並びに委嘱及び解嘱に関すること。	関係法令、例規等に基づき、協議決定する。
	(12) 県費負担市町村職員の任免その他進退に係る内申に関すること。	関係法令に基づき、協議決定する。
	(13) 教育財産の取得及び処分のうち、重要なものに関すること。	状況に応じ審議決定する。
	(14) 教育委員会と職員団体との協定に関すること。	状況に応じ協議する。

令和4年度川南町一般会計予算と教育課関係予算の内訳

1 川南町一般会計歳入歳出予算(当初)

総額 9,507,000千円(前年度比 5.3%減)

2 教育課関係予算

総額 818,560千円(前年度比 8.8%増)

3 教育課関係予算の内訳

予算項目	令和4年度(千円)	令和3年度(千円)	増減(千円)	対前年度比(%)
2 総務費	301	500	△ 199	△ 39.8
1 総務管理費	301	500	△ 199	△ 39.8
13 諸費	301	500	△ 199	△ 39.8
3 民生費	49,753	44,781	4,972	11.1
2 児童福祉費	49,753	44,781	4,972	11.1
1 児童福祉総務費	49,753	44,781	4,972	11.1
6 農林水産業費	3,128	3,113	15	0.5
1 農業費	3,128	3,113	15	0.5
13 公園管理費	3,128	3,113	15	0.5
8 土木費	23,298	21,058	2,240	10.6
3 都市計画費	23,298	21,058	2,240	10.6
3 都市公園費	23,298	21,058	2,240	10.6
10 教育費	742,080	677,458	64,622	9.5
1 教育総務費	150,750	136,548	14,202	10.4
1 教育委員会費	2,768	2,778	△ 10	△ 0.4
2 事務局費	147,982	133,770	14,212	10.6
2 小学校費	168,187	129,650	38,537	29.7
1 学校管理費	123,373	54,686	68,687	125.6
2 教育振興費	38,372	68,718	△ 30,346	△ 44.2
3 保健体育費	6,442	6,246	196	3.1
3 中学校費	63,223	68,556	△ 5,333	△ 7.8
1 学校管理費	32,981	36,722	△ 3,741	△ 10.2
2 教育振興費	26,793	28,311	△ 1,518	△ 5.4
3 保健体育費	3,449	3,523	△ 74	△ 2.1
4 社会教育費	259,003	252,871	6,132	2.4
1 社会教育総務費	53,494	58,549	△ 5,055	△ 8.6
2 文化施設費	198,988	187,965	11,023	5.9
3 文化財保護費	6,521	6,357	164	2.6
5 保健体育費	100,917	89,833	11,084	12.3
1 保健体育総務費	15,868	10,998	4,870	44.3
2 保健体育施設費	193	193	0	0.0
3 学校給食費	84,856	78,642	6,214	7.9
合 計	818,560	746,910	71,650	9.6

教育課関係予算の概要

予算費目		主な内容
総務費		
総務管理費	諸費	日本三大開拓地交流事業のうち随行職員の旅費
民生費		
児童福祉費	児童福祉総務費	放課後児童クラブに必要な費用
農林水産業費		
農業費	公園管理費	東地区運動公園の維持管理に必要な費用
土木費		
都市計画費	都市公園費	運動公園及び高森近隣公園の維持管理に必要な費用
教育費		
教育総務費	教育委員会費	教育委員の報酬、旅費その他運営に必要な費用
	事務局費	A L T報酬、教育支援教室指導員報酬及び職員の給与等並びに生涯学習センター施設の維持管理費を含む運営費用
小学校費	学校管理費	学校管理に必要な維持管理費用
	教育振興費	教材等学校の教育振興に必要な費用
	保健体育費	学校医報酬等学校の保健体育に必要な費用
中学校費	学校管理費	学校管理に必要な維持管理費用
	教育振興費	教材等学校の教育振興に必要な費用
	保健体育費	学校医報酬等学校の保健体育に必要な費用
社会教育費	社会教育総務費	社会教育委員報酬、社会教育指導員報酬及び職員の給与等並びに生涯学習活動に必要な費用
	文化施設費	文化ホール自主事業、図書購入費用及び文化ホール・図書館複合施設の指定管理に必要な費用
	文化財保護費	文化財保護審議会委員報酬、有形・無形文化財の保護保存及び維持管理に必要な費用
保健体育費	保健体育総務費	スポーツ推進委員報酬及びスポーツ関係に必要な費用
	保健体育施設費	学校施設の一般開放に必要な経費
	学校給食管理費	学校給食の調理等業務委託費及び学校給食共同調理場施設の維持管理に必要な費用

本町の教育は、教育基本法、宮崎県教育基本方針、宮崎県人権教育基本方針に示された人間尊重の精神を基調とし、さらに川南町第6次長期総合計画、第2次川南町教育大綱（川南町教育振興基本計画：令和3年度～令和7年度）を受け、川南町教育基本方針を定め、学校教育及び社会教育を次のように進めていくものとする。

川南町教育基本方針

ふるさと川南を愛し 未来を拓く 心豊かでたくましい 川南の人づくり

川南町の教育は、ふるさと川南を愛し、先人から伝わる融和と開拓精神をもち、「人との絆」を大切にしながら、人としての在り方生き方の基となる豊かな情操や寛容の心、道徳心や公共の精神といった「心の豊かさ」とともに、自らの資質や能力を磨き、夢や目標をもって、その実現に向けて挑戦し続ける「しなやかさ」や「たくましさ」をもった人材の育成と生涯にわたって学び続け「豊かさに耀き、共に未来を拓くまち かわみなみ」を創造し、飛躍・発展させることができる教育環境づくりを推進する。

川南町人権教育基本方針

川南町教育委員会は、一人一人が人権について正しい理解を深め、人権を相互に尊重し、共に生きる社会の実現と基本的人権に係る問題の解決においては、教育の果たす役割が極めて重要であるとの認識に立って人権尊重の教育に当たる。

学校教育及び社会教育においては、日本国憲法、教育基本法の本質、宮崎県人権教育基本方針に基づいて人権教育を推進する。人権問題は、多くの人々の努力によって解決に向けて進展している。しかし、同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障がいのある人などに関する様々な問題が存在している。さらに国際化、少子高齢化、情報化などの社会の急激な変化に伴う新たな問題も発生している。そのため、次のように人権教育を推進していく。

- 1 学校教育においては、児童生徒の発達段階及び学校や地域の実情を踏まえ、小・中学校が相互に連携を図り、全教育活動を通じて人権についての正しい知識を身に付け、人権を尊重する意識や態度を育成し、思いやりのある社会を築こうとする実践力を養うことに努める。
- 2 社会教育においては、各種学級、講座等の機会において基本的人権の尊重を基調とする学習を充実し、人権が一人一人の身近な問題であるとの認識を深め、日常生活において人権への配慮が態度や行動に表れるような人権感覚の高揚に努める。また、家庭教育に関しては、保護者に対する学習機会等を提供し、幼児期から豊かな情操や思いやり、生命を大切に作る心、社会的ルールの尊重、善悪の判断等子どもの健全な人間形成の基礎を育むことができるような支援を行い人権感覚が身につくように努める。
- 3 人権教育を積極的に推進するために、人権及び同和問題をはじめとするさまざまな人権問題に関する深い認識に基づいた、真に差別などあらゆる人権侵害をなくしていく強い意志と実践力をもった指導者の養成や研修に努める。

【令和4年度ふるさと川南の教育の推進にあたって】

1 目指す町民像

「川南町教育基本方針」として、「ふるさと川南を愛し 未来を拓く 心豊かでたくましい 川南の人づくり」をスローガンに掲げ、その具現化を図るために、子どもたちはもとより、町民全てを対象として施策を展開します。

そこで、具体的な町民の姿を、「目指す町民像」として設定しています。

《目指す町民像》

- 夢や希望を抱き、生涯にわたって自己実現を目指す人
- ふるさと川南を愛し、地域や社会の発展に主体的に参画する人
- 新たな時代を切り拓いていく気概と、広い視野をもって活動する人

この「目指す町民像」の実現に向けて、次に示す施策に総合的かつ計画的に取り組んでいきます。

2 基本的な考え方

総合的かつ計画的に取り組む施策は、全般にわたって、次のように「横の連携」と「縦の接続」を重視して推進します。

(1) 「横の連携」(地域・家庭・学校など、多様な主体の連携・協働)

生涯にわたって学び、仕事や子育て、地域活動やボランティア、文化・スポーツ活動など様々な活動に取り組んでいる人、また、取り組んできた人は、子どもたちをはじめ町民にとって、全てが、かけがえのない貴重な教育資源です。

子どもたちへの教育について見れば、これを取り巻く全ての大人が、育み、支え、導く存在としてつながり、「町民総ぐるみ」で、未来を担う本町の子どもたちに携わっていくことが、より一層求められています。このため、よりよい教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と地域・家庭等が共有し、各学校が社会に開かれた教育課程の実現に努め、未来の創り手となる子どもたちに必要な資質や能力を育てていくことが重要となっています。

そのため、これまで推進してきた学校や家庭、地域が連携した取組を基盤としながら、地域の企業やNPO法人、文化団体等の多様な主体が連携・協働して一体となった取組や、教育と福祉の連携等、分野の垣根を越えた取組などを、より充実・強化していく必要があります。

また、人口減少時代や人生100年時代の到来を見据えて、持続可能で魅力と活力ある地域づくりと生涯学習との関わりについて見れば、学んだ成果を地域づくりに生かす活動へつなげていくために、町民一人一人が当事者意識を持って主体的に「参画」することが、より一層求められています。これは、学びを通じて地域課題を見つけ、解決策を考え、実践する中で地域社会の担い手を育成していこうとする取組であり、地域住民やNPO、企業など様々な主体が連携・協働して取り組むことが不可欠となります。

教育、文化・スポーツ、いずれの活動や取組においても、人と人との「絆」、地域や社会における様々な「絆」を、より強く確かなものとしていくことが、ますます重要となっています。このような「絆」が、多様な形で複層的に結ばれ、しなやかにつながりつつ、様々な課題に取り組んでいけるような社会づくりを目指し、「横の連携」の充実・深化を推進していきます。

(2) 「縦の接続」(子どもから大人までの学びのつながり・接続)

現在の知識基盤社会では、あらゆる領域での活動の基盤として、新しい知識・情報・技術が非常に重要となっています。しかも、この知識・情報・技術をめぐる変化は加速度を増し、グローバル化の進展等によって、一つの出来事が広範囲かつ複雑に広がるなど、社会の変化の正確な予測は、ますます難しくなっています。

一方、人生100年時代の到来により、長くなった生涯の中で、2つ以上の仕事を持つことや、多様な形で様々な社会活動を行うことが、より一般的になると思われます。

さらに、超スマート社会(Society 5.0)の到来により、人々の働き方や職業そのものが抜本的に変わると予測される中、ライフステージの様々な段階での学び直しも、より重要になると思われます。

こうした変化の激しい社会を生き抜いていくためには、町民一人一人が、生涯にわたって自己実現を目指し、質の高い学びを重ねて、それぞれの立場や分野で成長し続ける力を身に付けることが必要です。そして、一人一人の学びが地域や社会に還元され、学びが循環する社会づくりを進め、生涯学習社会の実現を図る必要があります。

このため、子どもたちの教育においては、幼児期の教育から、小学校、中学校での教育までをしっかりと接続し、学校種間の連携を更に深めるとともに、各学校が社会に開かれた教育課程の実現に努め、学校と社会とのつながりを一層深め、子どもたちに社会的・職業的自立の基盤となる確かな力などを育てていくことが不可欠となります。

また、町民誰もが、生涯にわたり必要な知識・技能・技術を学び、活用し、知的・人的ネットワークを構築して人生の可能性を広げ、新たなステージで活躍したり、文化・スポーツ活動や地域社会の一員として様々な社会活動を行ったりするなど、人生を豊かに生きられるような環境づくりを進める必要があります。そして、これらの学びや活動の成果を、地域づくりや子どもたちの教育に、積極的に還元できる機会を充実させていくことがより重要になっています。

これらを踏まえ、子どもから大人まで、町民それぞれの各ライフステージにおける学びや活動がつながり、本町の教育や文化・スポーツの振興が一層図られるよう「縦の接続」を重視して、様々な取組を推進していきます。

3 総合的かつ計画的に取り組む施策

※ 施策目標Ⅰ～Ⅳの設定は、第2次川南町教育大綱による

施策目標Ⅰ 町民が生涯を通じて学び、教育に参画する社会づくりの推進

本格的な人口減少時代を迎え、人生100年時代や超スマート社会（Society 5.0）の到来が予想される中、町民一人一人が生涯にわたって自己実現を目指し、ライフステージに応じて新たな学びに取り組んだり、改めて学び直しをしたりしながら、自らを磨き成長し続けられるよう、多様な学習機会を充実させるなどの環境づくりを進める必要があります。さらに、それぞれが身に付けた知識や技能、技術等を社会に還元することができる、学びが循環する社会づくりが必要となっています。

また、子どもたちの教育をはじめとする様々な教育の取組に、町民一人一人が家庭や地域社会の一員としての意識を高め、教育とつながり、それぞれの立場で役割を果たしていくことが求められています。「町民総ぐるみ」による教育を推進して、本町を支える人材を社会全体で育てることにより、持続可能な社会づくりを一層進めていくことが必要となっています。

これらを踏まえ、次のような取組を進めます。

- 1 生涯学習の推進
- 2 地域と学校の連携・協働の推進

施策目標Ⅱ 社会を生き抜く基盤を培い、未来を担う人財を育む教育の推進

子どもたちが生きるこれからの社会は変化が激しく、ますます複雑になり、多様化が進みつつあります。一方、グローバル化や技術革新の急速な進展により、人々の働き方や職業そのものも抜本的に変わるとされる超スマート社会（Society 5.0）の到来が予想されるなど、社会が大きく変わろうとしています。また、本格的な人口減少時代を迎え、その影響が様々な分野に現れはじめ、今後の本町の産業や暮らしを支える人材の不足が懸念されています。

このような社会を生き抜いていくため、全ての子どもたちに質の高い教育を提供することにより、確かな学力や豊かな心、健やかな体を育み、夢や目標を持って可能性に挑戦する力を身に付けさせ、社会的・職業的自立の基盤となる力を培う教育が一層重要となっています。さらに、今後の社会の変化に対応して、様々な分野における多様な「人財」の育成も求められています。

また、近年、地域や家庭の環境、情報環境等が大きく変化し、子どもたちの健やかな成長に対する懸念が生じており、生活習慣や健康、情操の発達や規範意識、コミュニケーション能力等をめぐる様々な問題が指摘されています。これらの課題への対応が求められる一方、新たな人権課題も指摘されており、共生社会の実現に向けて、人権教育の一層の充実を図ることや、子どもたちの障がいの内容が多様化し、新たな教育的ニーズも生じる中、特別支援教育の一層の充実も求められています。

このような子どもたちへの教育を通じて、未来の創り手となるために必要な資質と能力を育み、持続可能でよりよい社会の形成に、全ての子どもたちが参画していけるよう努めていく必要があります。

これらを踏まえ、次のような取組を進めます。

- 1 読書の町づくりの推進
- 2 幼児期の教育の充実

- 3 確かな学力を育む教育の推進
- 4 人権を尊重し豊かな心を育む教育の推進
- 5 特別支援教育の推進
- 6 郷土を愛し地域社会に参画する態度を育む教育の推進
- 7 キャリア教育の推進
- 8 社会の変化に対応した多様な人財を育む教育の推進

施策目標Ⅲ 教育を支える体制や環境の整備・充実

教職員の大量退職と若手教職員の増加が進む一方、学校では様々な教育課題への対応が求められており、優れた教職員の確保・育成とともに、複雑化・多様化した教職員の業務を整理・改善し、子どもたちと向き合う時間を十分に確保していくことが一層重要になっています。

子どもたちの学びや生活の場である学校は、安全・安心な環境であることが不可欠です。このため、事件や事故から子どもたちを守る学校安全を推進し、老朽化が進む学校施設等への適切な対応や大規模災害等に備えた防災・減災対策を進めていく必要があります。また、いじめに対しては、積極的に認知し、重大事態に至らないよう適切に対応することが重要です。インターネット上でのいじめや増加傾向が見られる不登校などの課題に対応するため、相談体制の充実や専門家の活用など、学校の対応力の強化・充実も求められています。

さらに、子どもたちの教育環境は、地域や家庭環境等により様々で多様な教育的ニーズがあるため、魅力と活力ある学校づくりを推進するとともに、きめ細かな指導ができる体制の整備や修学支援の充実にも、なお一層取り組んでいく必要があります。

これらを踏まえ、次のような取組を進めます。

- 1 教職員の資質向上と学校における働き方改革の推進
- 2 安全・安心な教育環境の整備・充実
- 3 魅力ある多様な教育の振興・支援

施策目標Ⅳ 文化やスポーツに親しむ社会づくりの推進

文化の振興については、社会が成熟化し、価値観の多様化が進む中、多くの人が「心の豊かさ」を一層求めるようになっていきます。このため、文化芸術の鑑賞や活動等を通して、町民が生涯にわたり豊かな感性と教養を育むことができるような環境づくりが求められています。また、町内各地に数多く存在する特色ある有形・無形の文化資源を、将来に向けて保存・継承していくためには、担い手の確保・育成や環境整備、これらに資する文化資源の活用などにも努める必要があります。

スポーツの推進については、町民の多様なニーズに対応し、町民誰もが生涯にわたってスポーツに親しむことができるよう、その機会の充実や環境づくりに取り組む必要があります。

これらを踏まえ、次のような取組を進めます。

- 1 文化の振興
- 2 スポーツの推進

4 令和4年度重点事項について

令和8年3月までの川南町の教育の方向性を示した川南町教育大綱（川南町教育振興基本計画：令和3年度～令和7年度）の確実な推進のためには、学校教育関係者、社会教育関係者をはじめ、町民が一体となった各立場での推進が必要です。

令和3年9月に実施した「ふるさと川南の教育に関する調査」の結果を見ると、児童生徒の生活習慣等に関する個々の質問に対しては、令和2年度に比べると下降傾向にあるものが見られるものの、全体的には肯定的な回答の割合が高く、概ね良好であると言えます。しかし、経年比較してみると、「自分にはよいところがあると思う」という項目に対して肯定的な回答をしている割合が小学生は中学生に比べて低いことから、学校の教育活動全般を通じて自己肯定感を育てていく必要があると考えられます。また、中学生については、「地域の一員として、ボランティア活動などの地域の活動に積極的に参加している」と肯定的に回答している割合が小学生に比べて低いことから、ボランティア活動に取り組もうとする気持ちを醸成していく必要があると考えられます。

また、「授業内容」に関する項目においては、小・中学生ともに肯定的な回答が8割を超えていることから、各学校において主体的・対話的で深い学びのポイントや県が示している授業改善の4つのポイントを意識した授業づくりに取り組むことが授業の質の向上とともに分かる授業につながると考えられます。併せて、タブレット端末が導入されたことから、すべての学校においてタブレット端末を使うことが目的ではなく、授業のねらいを達成させるための手段として効果的に活用していくことが望まれます。

そこで、令和4年度は、特に以下の施策に重点を置いて推進します。

施策目標Ⅰ 町民が生涯を通じて学び、教育に参画する社会づくりの推進

これまでの学校教育や社会教育の取組を継承しつつも、これからの時代にあった新しい教育環境づくりに向けた取組を期待します。

- 生涯学習まちづくり推進計画に基づく取組の推進
- 地域学校協働活動推進体制の整備、充実による「Team Kawaminami 学びのネットワークづくり事業（地域学校協働本部事業）」の展開とコミュニティ・スクールの一体的推進

施策目標Ⅱ 社会を生き抜く基盤を培い、未来を担う人財を育む教育の推進

知育・徳育・体育のバランスのとれた教育や社会的・職業的自立の基盤となる力を培う教育の推進を図り、本町の教育的課題の解決に向けて取り組むことを期待します。

- 学力向上のための組織的な取組の推進と学力向上マネジメントサイクルの確立
- 読書する機会の充実を図るための学習活動の推進
- 幼保小連携・接続体制の整備
- 児童生徒と教職員の人権感覚を高める人権教育の推進及びいのちを大切にす教育の推進
- 「ふるさと学習」の充実とボランティア活動など地域に貢献する活動への積極的な参画の推進
- 縦の連携を重視したキャリア教育の推進及び地域との連携・協働による体験的・実践的なキャリア教育の推進
- グローバル化に対応した人材を育成するための国際理解教育の推進及び外国語教

育の充実

- 教育の情報化（情報活用能力の育成・教科におけるICT活用・校務の情報化）に係る環境の整備・充実及び情報モラル教育の推進

施策目標Ⅲ 教育を支える体制や環境の整備・充実

地域の教育力の要として教育委員会が示した「教職員へのメッセージ」を意識し、「児童生徒とともに学び続ける教職員」として常に向上心をもって取り組むことを期待します。

- 教職員の専門性を高めるための校内研修を中心としたOJTの推進、教育研究所研究員と連携した学校支援
- 働き方改革に係る学校・家庭・地域の連携・協働体制づくりの推進
- いじめの未然防止に係る具体的な取組の推進
- 災害発生時に児童生徒が主体的に行動できる実践的な防災教育等の推進
- 新設中学校整備に向けた学校種間のより一層の連携と具体的な取組の推進

施策目標Ⅳ 文化やスポーツに親しむ社会づくりの推進

文化の振興及びスポーツの推進においては、各ライフステージの多様なニーズに対応し、生涯にわたって文化やスポーツに親しむことができるような施策運営を行うことを期待します。

- 文化財資源の保存と活用
- 町民誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり
- 学校における体力づくりの推進及び食育・健康教育の推進

5 具体的施策

◎は、令和4年度重点事項

施策目標	活動施策	総合的かつ計画的に取り組む施策	担当係
I 町民が生涯を通じて学び、教育に参画する社会づくりの推進	1 生涯学習の推進	◎ 生涯学習まちづくり推進計画に基づく取組の推進 ○ 生涯学習に関する情報の提供の充実 ○ 学びの場となる生涯学習講座の企画・実施 ○ 放課後子ども教室と放課後児童クラブの連携 ○ 社会教育関係団体等との連携強化 ○ 家庭教育の学習機会の充実 ○ 家庭における絆づくりと子どもの生活習慣づくりに向けた取組の推進	生涯学習 生涯学習 生涯学習 生涯学習 生涯学習 生涯学習
	2 地域と学校の連携・協働の推進	◎ 地域学校協働活動推進体制の整備、充実による「Team Kawaminami 学びのネットワークづくり事業（地域学校協働本部事業）」の展開 ○ 地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進 ○ 「地域とともにある学校づくり」の推進 ○ 教育に関する町民意識の醸成	生涯学習 学校教育 生涯学習 学校教育 学校教育 生涯学習

施策目標	活動施策	総合的かつ計画的に取り組む施策	担当係
II 社会を生き抜く基盤を培い、未来を担う人財を育む教育の推進	1 読書の町づくりの推進	◎ 児童生徒の読書機会の充実を図るための学習活動の推進 ○ 家庭等における読書活動の推進 ○ 読書の町づくり推進体制の充実 ◎ 町立図書館と連携した読書活動の充実	学校教育 学校教育 生涯学習 文化スポーツ 文化スポーツ 学校教育
	2 幼児期の教育の充実	◎ 幼保小連携・接続体制の整備 ○ 発達障がいや言語（ことば）の遅れのある子どもへの支援	学校教育 学校教育
	3 確かな学力を育む教育の推進	◎ 各種学力テスト等の分析結果を生かした組織的な取組の推進 ◎ リーディングスキルテストの結果を生かした「読解力」の育成 ○ 学習成果としての作文や書写、絵画などの新聞等への投稿促進 ○ キャリア教育の視点からの学習指導の改善・充実 ◎ 学力向上及び授業改善をねらいとした学校支援訪問の充実 ○ 川南町ニューフロンティア教育研究会の充実（小中一貫、学校間連携の推進）	学校教育 学校教育 学校教育 学校教育 学校教育
	4 人権を尊重し豊かな心を育む教育の推進	◎ 児童生徒と教職員の人権感覚を高める人権教育の推進 ◎ いのちを大切にする教育の推進 ○ 奉仕活動やボランティア活動等、体験活動を生かした道徳教育の推進 ○ 不登校児童生徒への適切な対応・体	学校教育 学校教育 学校教育 学校教育

		<ul style="list-style-type: none"> 制づくりの強化（フロンティアルームの充実） ○ 児童生徒のリーダー育成を目指した川南町レインボーサミットの開催 	学校教育 生涯学習
5	特別支援教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 各学校における校内支援体制の充実 ○ 就学相談の実施 ○ 教育支援委員会の開催 ○ 特別な支援を要する児童生徒の指導に関する実践的研修の実施 	学校教育 学校教育 学校教育 学校教育
6	郷土を愛し地域社会に参画する態度を育む教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 開拓の歴史や川南の自然・文化財等を活用した「ふるさと学習」の充実 ○ 地域における体験活動の推進及び地域活動に参画できる体制づくりの推進 ○ 子ども会、公民館活動、ボランティア活動等への積極的参画の推進 ○ 学校行事や総合的な学習の時間等を活用した町歌斉唱や郷土芸能の伝承活動の推進 ○ 三大開拓地交流事業の推進 	文化スポーツ 学校教育 生涯学習 学校教育 生涯学習 生涯学習 文化スポーツ 生涯学習
7	キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 小学校から中学校段階までの9年間を見通したキャリア教育の推進 ◎ 地域との連携・協働による体験的・実践的なキャリア教育の推進 ○ 勤労観・職業観等の価値観の形成・確立のための様々な学習や体験の推進 ○ アシスト企業の活用促進 	学校教育 学校教育 生涯学習 学校教育 生涯学習 学校教育
8	社会の変化に対応した多様な人財を育む教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 外国語指導助手（ALT）や地域在住外国人の活用による国際理解教育の推進 ◎ 実践的なコミュニケーション能力の育成を図るための外国語教育の充実 ○ 英検（中学生）及び英検Jr.（小6）の公費受験の実施と効果の検証 ◎ 教科におけるICT活用の推進及び教員のICT活用指導力の向上 ◎ 情報モラル教育の推進 ○ 地域や家庭との連携等による環境教育の推進 	学校教育 生涯学習 学校教育 学校教育 学校教育 学校教育 生涯学習

施策目標	活動施策	総合的かつ計画的に取り組む施策	担当係
III 教育を支える体制や環境の整備・充実	1 教職員の資質向上と学校における働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 専門性を高め、使命感に徹し、地域の子どもとともに生きる教職員の育成 ◎ 教職員研修の充実とOJTの積極的な推進 ◎ 川南町教育研究所の研修充実及び研究員と連携した研究内容の推進 ○ 教職員の安全と健康を保持する校内体制の整備促進 ◎ 働き方改革に係る学校・家庭・地域の連携・協働体制づくりの推進 	学校教育 学校教育 学校教育 学校教育 学校教育 生涯学習

	2 安全・安心な教育環境の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域ぐるみの学校安全体制の整備・充実 ○ 安全、安心な学校施設の整備 ◎ 児童生徒が主体的に行動できる実践的な防災教育等の推進 ◎ いじめの未然防止に係る具体的な取組の推進 ○ 校内相談体制の充実のための支援 	<p>学校教育 生涯学習 教育施設 学校教育</p> <p>学校教育</p> <p>学校教育</p>
	3 魅力ある多様な教育の振興・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 川南町ニューフロンティア教育研究会や学校の取組の支援による小中連携教育の充実 ○ 川南町育英会資金の貸与等による修学支援の充実 ◎ 新設中学校整備に向けた学校種間の一層の連携と具体的な取組の推進 	<p>学校教育</p> <p>学校教育</p> <p>学校教育</p>

施策目標	活動施策	総合的かつ計画的に取り組む施策	担当係
IV 文化やスポーツに親しむ社会づくりの推進	1 文化の振興	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化連盟の活動支援 ○ 文化財保護審議会の開催 ◎ 特色ある文化資源の保存及び情報発信と活用 ○ 郷土芸能の伝承活動の充実 (通浜三尺棒踊り、登り口奴踊り、沓袋百萬遍、川南盆踊り) ○ 図書館、文化ホールの利用支援 ○ 読書推進活動の促進 ○ 文化意識向上の推進 ○ かわみなみ歌声あふれるまちづくり事業の充実 ○ 文化財を活用した生涯学習講座の企画・実施 	<p>文化スポーツ 文化スポーツ 文化スポーツ</p> <p>文化スポーツ</p> <p>文化スポーツ 文化スポーツ 文化スポーツ 文化スポーツ</p> <p>生涯学習</p>
	2 スポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツ少年団、各種スポーツ団体の活動の充実及び連携推進 ○ 体育・保健体育の学習指導の充実 ◎ 学校における体力づくりの推進 ◎ 食育（食の役割啓発及び地産地消、弁当の日）及び健康教育（薬物乱用防止教育、性教育等）の推進 ○ 安全、安心な学校給食の実施と衛生管理の徹底 ○ 給食費の公会計化の検討 ◎ 各種スポーツ施設の整備及び管理、利用者間の調整 ◎ 宮崎国スポ開催に向けた準備 ○ 運動習慣のきっかけづくりの支援 	<p>文化スポーツ</p> <p>学校教育 学校教育 学校給食</p> <p>学校給食</p> <p>学校給食 文化スポーツ 教育施設 文化スポーツ 文化スポーツ</p>

6 令和4年度 教育課事業計画

事業名等	内容
生涯学習まちづくり推進計画に基づく取組の推進	町民が「いつでも、どこでも、誰にでもできる」生涯学習の更なる定着化と、活力あるまちづくりに向けた取組の確実な推進を図る。
学びの場となる生涯学習講座の企画・実施	町民のニーズに応じ、多様な講座を企画・実施することで、町民の生涯にわたる学びへの意欲付けを図る。
出前講座等回数 R3年度 0事業所等 R4年度(目標) 3事業所等	
人財(材)バンクの整備・充実	多様化する町民の学習ニーズに応え、町民が必要とする生涯学習に関する情報を広くかつ迅速に入手することができるように「人材バンク」等の充実を中心とした情報提供の充実に努め、町民の生涯学習を支援する。
人財バンク登録数 R元年度 295事業所等 R2年度 185事業所等 R3年度 174事業所等 R4年度(目標) 180事業所等	
各ライフステージでの学習・発表の場の設定	地域の社会教育施設等において、各ライフステージにおける学習活動の支援の充実を図るとともに、個人が学習したことにより得られた経験や知識等が社会で発揮できるよう学びを生かす場の充実に努める。
各地区高齢者教室の開催(町内高齢者)	高齢者社会を健やかに生きる生活技術の習得を図る。健康教育、人権教育、交通安全教育、消費生活の心得
開催回数 R元年度 35回 R2年度 16回 R3年度 16回 R4年度(目標) 41回 参加者延べ人数 R元年度 1120人 R2年度 325人 R3年度 285人 R4年度(目標) 1125人	
山茶花ふれあい学園の開催(概ね60歳以上)	多様化・高度化する社会環境や生活環境に対応した高齢者の学習意欲に応えるため、生きがいを求め幅広い分野について学習活動を行うとともに、地域のリーダー養成を図る。
開催回数 R元年度 22回 R2年度 7回 R3年度 10回 R4年度(目標) 22回 参加者延べ人数 R元年度 360人 R2年度 125人 R3年度 95人 R4年度(目標) 200人	
女性講座(町内女性)	男女の意識改革、男女共同参画社会づくりのため、生活課題や社会課題に関する学習の機会を提供することにより、女性の連帯を強めるとともに資質の向上を図る。
開催回数 R元年度 2回 R2年度 中止 R3年度 1回 R4年度(目標) 2回 参加者延べ人数 R元年度 53人 R2年度 中止 R3年度 23人 R4年度(目標) 50人	
成人式の開催	成人となったことを祝い励ますとともに、厳粛な式典の参加を通して、社会人としてのマナーを学ぶ機会として成人式典を開催する。1月3日(サン川南文化ホール)
参加者数 R元年度 135人 R2年度 中止 R3年度 113人 R4年度(目標) 120人	
生涯学習講座(一般町民)	町民の多様な学習ニーズに対応した生涯学習の機会を提供するため、通年及び長期又は短期の学習講座を開設する。
開設講座数 R元年度 9講座 R2年度 6講座 R3年度 1講座 R4年度(目標) 未実施 開催回数 R元年度 84回 R2年度 38回 R3年度 1回 R4年度(目標) 未実施 参加者人数 R元年度 145人 R2年度 226人 R3年度 11人 R4年度(目標) 未実施	
生涯学習大会の開催	個人や団体及び地域・学校等で取り組んだ学習や事業の実践報告、作品展示、講演会等を行うことにより、町民の生涯学習への関心を高めるとともに実践化への意欲を喚起し、生涯学習の振興と充実に努める。
発表参加人数 R元年度 16 R2年度 中止 R3年度 中止 R4年度(目標) 3人 参加者数 R元年度 410 R2年度 中止 R3年度 中止 R4年度(目標) 450人	
放課後児童クラブの充実	児童福祉法の規定に基づき、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している子どもたち(放課後児童)に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供して、その健全な育成を図る。
年間参加者延べ人数 H29年度 32,656人 H30年度 36,825人 R元年度 38,990人 R2年度 33,950人 R3年度 30,447人 R4年度(目標) 30,000人	

事業名等	内容
放課後子ども教室推進事業 (元気っ子子ども教室) (小学生3年生以上)	地域の多様な方々の参画を得て、子どもたちと共に学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などを行う。特に郷土愛を育む活動(農地活性化プロジェクト参加や各地区の歴史に触れる等)に努めている。
開催回数	R元年度 38回 年間参加者延べ人数 2683人 R2年度 24回 年間参加者延べ人数 1415人 R3年度 24回 年間参加者延べ人数 1561人 R4年度(目標) 35回 年間参加者延べ人数 2200人
ジュニアリーダーの育成 (元気っ子サークル)	体験活動を通じ、人間としての「思いやりの心」や、「生きる力」を養い、リーダーとしての資質や能力を高める。
開催回数	H30年度 13回 R元年度 23回 R2年度 8回 R3年度 18回 R4年度(目標) 15回
社会教育関係団体との連携強化	県と連携し、社会教育関係事業に関係団体等の参画を促すとともに、指導者研修の充実や関係団体等とのネットワークの構築により、社会教育関係団体との連携強化に努める。
町PTA連絡協議会との連携	町内各学校のPTAで組織する町PTA連絡協議会に対して、適切な助言や支援を行う。
開催回数	H30年度 6回 R元年度 7回 R2年度 5回 R3年度 3回 R4年度(目標) 6回
青少年指導者の育成	健全な青少年を育成するために、研修会等を通じて町内の青少年を育成する指導者等を育成する。
研修会回数 町内巡回補導	H30年度 1回 R元年度 1回 R2年度 1回 R3年度 1回 R4年度(目標) 1回 H30年度 3回 R元年度 3回 R2年度 中止 R3年度 1回 R4年度(目標) 3回
放課後子どもプラン運営委員会の設置及び運営	放課後子ども教室と放課後児童クラブの在り方や適切な運営に関して、様々な見地から助言を受ける。
開催回数	H30年度 2回 R元年度 1回 R2年度 中止 R3年度 0回 R4年度(目標) 1回
家庭教育学級の充実	保護者が家庭で子どもを教育する心構えや子どもへの接し方、教育上の留意点など、家庭教育上の共通の問題を計画的かつ継続して学習できる場となるように内容等の充実を図る。
実施回数(町内7校の総数) 参加者数(町内7校の総数)	R2年度 20回 R3年度 27回 R4年度(目標) 25回 R2年度 765人 R3年度 554人 R4年度(目標) 500人
Team Kawaminami 学びのネットワークづくり事業 (地域学校協働本部事業)の展開	豊かな教育資源や人材をもつ地域が、多方面から学校の児童生徒の教育活動を支える仕組みを構築することで、児童生徒に社会を実感させるとともに、地域づくりと活力あるコミュニティの形成に寄与する。
教育資源活用プラン ネットワーク研修会	R元年度 10課等 R2年度 10課等 R3年度 10課等 R4年度(目標) 10課等 R元年度 1回 R2年度 中止 R3年度 0回 R4年度(目標) 1回
地域学校協働活動とコミュニティ・スクールとの連携強化	地域学校協働活動推進員を配置し、学校運営協議会との連携を強化することにより、地域住民等のボランティアによる支援活動の充実を図り、地域学校協働活動を推進する。
コミュニティ・スクールの推進	学校運営協議会を学校単位で設置することにより、地域住民等との連携・協働体制を強化し、地域とともにある学校づくりの一層の推進を図る。
参加者数	各小中学校 3×7 21人
開催回数	唐瀬原中学校区 R元年度 10回 R2年度 11回 R3年度 10回 R4年度(目標) 12回 国光原中学校区 R元年度 8回 R2年度 9回 R3年度 8回 R4年度(目標) 9回
学校からの情報発信の充実	ホームページ等を活用したり、オープンスクールを実施したりすることにより、日常的に学校の情報を提供し、保護者や地域住民との相互理解を図る。
ホームページ開設学校数 オープンスクール実施学校数	H25年度 全学校開設済み H25年度より全学校実施

事業名等	内容
児童生徒の読書機会の充実を図るための学習活動の推進	学校の実態に応じて読書に親しむ機会を設定したり、学校図書館が持つ機能を有効に活用したりすることにより、自主的・自発的な学習活動の促進や読書活動の充実を図る。
読書推進活動（図書館の貸出業務等の充実）の促進	生涯学習の拠点施設の一つとして、町民の多様化、高度化する学習・情報ニーズに対応するため、図書資料の収集、整理・保存に努め、利用促進を図る。（指定管理者により実施）
貸出し冊数	H29年度 81652冊 H30年度 89402冊 R元年度 67830冊 R2年度 50400冊 R3年度 55075冊 R4年度（目標）56000冊
貸出し延べ人数	H29年度 18493人 H30年度 16528人 R元年度 13710人 R2年度 9700人 R3年度 11156人 R4年度（目標）12000人
町立図書館と連携した読書活動の充実（ネットワークの充実）	学校図書館と町立図書館が連携し、読書に親しむ機会を増やすことで、豊かな情操等を育み、言葉の感性や表現力、想像力を豊かにし、思考力を高める教育を推進する。
学校への図書貸出冊数	R2年度 8482冊 R3年度 8860冊 R4年度（目標）9000冊
読書感想文・画コンクール（小・中学生）	小・中学生を対象に、読書感想文・画コンクールを行い、読書意欲の喚起を図る。（指定管理者により実施）
応募者数	R元年度 146人 R2年度 122人 R3年度 136人 R4年度（目標）140人
絵本の読み聞かせ（幼児及び低学年）	子どもの情操と想像力を豊かにするとともに、親子のふれあいを深める絵本の読み聞かせを実施する。（指定管理者により実施）
開催回数	R元年度 44回 R2年度 47回 R3年度 71回 R4年度（目標）90回
参加者延べ人数	R元年度 401人 R2年度 513人 R3年度 345人 R4年度（目標）400人
図書館まつり（町民全般）	子どもから大人まで楽しめる行事を企画し、（図書館を身近に感じてもらい）、読書推進と図書館利用の向上を図る。（指定管理者により実施）
開催回数	R元年度 1回 R2年度 1回 R3年度 1回 R4年度（目標）1回
参加者延べ人数	R元年度 277人 R2年度 444人 R3年度 375人 R4年度（目標）400人
読み聞かせ講座（町民全般）	読書活動に関わるボランティアや幼児・児童を持つ保護者を対象に読書活動の支援者等の技術向上を図り、読み聞かせの普及を図る。（指定管理者により実施）
開催回数	R元年度 8回 R2年度 14回 R3年度 6回 R4年度（目標）8回
参加者延べ人数	R元年度 22人 R2年度 162人 R3年度 29人 R4年度（目標）40人
図書館協議会	町民の代表者である有識者等が、図書館運営や町民の読書推進に向けて協議する。（指定管理者により実施）
開催回数	R元年度 3回 R2年度 2回 R3年度 2回 R4年度（目標）2回
発達障がいや言語（ことば）の遅れのある子どもへの支援	保健センターと関係の保育所や特別支援学校、町立小学校特別支援コーディネーター等がネットワークをもち、療育支援体制の整備を推進する。
ネットワーク会議の開催数	H30年度 4回 R元年度 4回 R2年度 3回 R3年度 2回 R4年度（目標）2回
幼保小連携・接続の推進	幼稚園や保育園と小学校との連携を推進することにより、円滑な学校生活への移行を図る。
幼保小連携（連絡）会議の実施回数（町内5校の総数）	R元年度 8回 R2年度 6回 R3年度 6回 R4年度（目標）6回

事業名等	内容
各種学力テスト等の分析結果を生かした組織的な取組の推進	小・中学生の学力の実態や学習状況を把握・分析し、学校の実態に応じた学力向上の取組を組織的に推進する。
みやざき学力・学習状況調査結果で県平均以上学校数 R元年度 3校 R2年度 0校 R3年度 1校 R4年度(目標) 7校 CRT等実施校 R元年度 5校 R2年度 5校 R3年度 5校 R4年度(予定) 5校	
学習成果としての作文や書写、絵画などの新聞等への投稿促進	各教科等での学習した成果を新聞等に投稿することにより、児童生徒の学習意欲の高揚を図る。
宮日新聞掲載回数 R元年度 53回 R2年度 47回 R3年度 103回 R4年度(目標) 120回	
キャリア教育の視点からの学習指導の改善・充実	キャリア発達に必要な基礎的・汎用的能力の育成を意識した学習指導の改善・充実に努める。
学力向上及び授業改善をねらいとした学校支援訪問の充実	各学校における学校運営状況の把握や授業力向上のための校内研修の取組に対し、指導や情報の提供を行い、研修の充実と指導力向上を支援する。
計画訪問回数 H30年度 国光原中学校区3回 R元年度 唐瀬原中学校区4回 R2年度 未実施 R3年度 国光原中学校区3回 R4年度(予定) 唐瀬原中学校区4回 視察訪問回数 H30年度 唐瀬原中学校区4回 R元年度 国光原中学校区3回 R2年度 未実施 R3年度 唐瀬原中学校区4回 R4年度(予定) 国光原中学校区3回	
川南町ニューフロンティア教育研究会の充実(小中一貫教育、学校間連携の推進)	各学校が特色ある教育課程の編成を目指すとともに、その計画的な実施によって、児童生徒の「学力向上、心の教育の充実、体育・スポーツの振興、文化活動の推進」、「教職員の資質向上」、「町民の教育的関心」等を図り、川南町全体の教育の充実・振興に資する。
開催回数 全体会(総会・代表者会) R元年度 3回 R2年度 3回 R3年度 未実施 R4年度(予定) 3回 分科会 R元年度 3回 R2年度 3回 R3年度 未実施 R4年度(予定) 3回	
児童生徒と教職員の人権感覚を高める人権教育の推進	教職員自らの人権感覚の高揚と教職員の人権教育に関する専門的指導力の向上を図るために、参加体験型学習等の校内外研修に積極的に取り組み、人権尊重の精神が学校・学級全体にみながる教育基盤の整備に努める。
各学校で実施された研修回数 R2年度 10回 R3年度 10回 R4年度(目標) 10回	
いのちを大切にす教育の推進	「県いのちの教育週間」における取組を中心として、子どもたちが自他の「いのち」がかけがえのないものであることを学ぶ取組を推進する。
取組実施回数 R2年度 7回 7校 R3年度 7回 7校 R4年度(目標) 7回 7校	
体験活動を生かした道徳教育の推進	ボランティア活動といった社会体験活動を計画的かつ効果的に実施し、生命や自然を大切にする心や他人を思いやる優しさ、たくましさや協調性、奉仕の精神などの豊かな人間性、社会性、規範意識の育成を図る。
主催・共催事業 R元年度 3回 R2年度 未実施 R3年度 未実施 R4年度(目標) 1回	
児童生徒のリーダー育成を目指した川南町レインボーサミットの開催	将来の川南を担う町内全小中学校の児童生徒代表が一堂に会し、学校での子どもたちの特色ある活動や取組についての発表と意見交換を行うことにより、学校生活の充実に生かすなど児童生徒の活動のさらなる活性化を図る。 年1回8月初旬
参加者数 R元年度 ※会場設備不具合のため中止 R2年度 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止 R3年度 小学生15人 中学生6人 教職員15人 保護者等10人 R4年度(予定) 小学生15人 中学生6人 教職員15人 保護者等10人	

事業名等	内容																														
一人一人を大切にできる言葉遣いの励行	全教育活動を通して自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めることのできるなど、地域の等々、児童の発達段階や学校の設定や全体計画の進捗を、取組の点検、評価を行う。また、具体的な指導を行う。																														
<p>「人権が尊重されている学校になっている」と回答した児童生徒の割合</p> <table border="1"> <tr> <td>小学6年生</td> <td>R元年度</td> <td>87%</td> <td>R2年度</td> <td>未実施</td> <td>R3年度</td> <td>92%</td> <td>R4年度(目標)</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td>中学3年生</td> <td>R元年度</td> <td>92%</td> <td>R2年度</td> <td>未実施</td> <td>R3年度</td> <td>90%</td> <td>R4年度(目標)</td> <td>95%</td> </tr> </table>		小学6年生	R元年度	87%	R2年度	未実施	R3年度	92%	R4年度(目標)	95%	中学3年生	R元年度	92%	R2年度	未実施	R3年度	90%	R4年度(目標)	95%												
小学6年生	R元年度	87%	R2年度	未実施	R3年度	92%	R4年度(目標)	95%																							
中学3年生	R元年度	92%	R2年度	未実施	R3年度	90%	R4年度(目標)	95%																							
学校における校内支援体制の充実	各学校において特別支援教育の視点を盛り込んだ学校経営計画の作成や、校内の支援体制充実のための組織づくりなどを推進する。																														
就学相談の実施	保育所等を対象とした理解啓発活動の推進により、乳幼児期からの適切な支援や早期教育相談の充実を図り、就学移行期における適切な就学相談体制の確立に取り組むとともに、小・中学校教育における個別の教育支援計画等の活用を図り、関係機関と連携した支援体制の整備や支援の充実に努める。																														
<p>開催回数</p> <table border="1"> <tr> <td>R元年度</td> <td>1回</td> <td>参加幼児数</td> <td>18人</td> <td>R2年度</td> <td>1回</td> <td>参加幼児数</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>R3年度</td> <td>1回</td> <td>参加幼児数</td> <td>17人</td> <td>R4年度(目標)</td> <td>1回</td> <td>参加幼児数</td> <td>20人</td> </tr> </table>		R元年度	1回	参加幼児数	18人	R2年度	1回	参加幼児数	28人	R3年度	1回	参加幼児数	17人	R4年度(目標)	1回	参加幼児数	20人														
R元年度	1回	参加幼児数	18人	R2年度	1回	参加幼児数	28人																								
R3年度	1回	参加幼児数	17人	R4年度(目標)	1回	参加幼児数	20人																								
教育支援委員会の実施	特別な支援が必要となる新就学児及び町立小中学校に就学中の児童生徒について、各校長及び特別支援コーディネーター、外部有識者等で構成し、必要な支援について協議を行い、教育委員会からの諮問に対して答申する。																														
<p>開催回数</p> <table border="1"> <tr> <td>H30年度</td> <td>2回</td> <td>R元年度</td> <td>2回</td> <td>R2年度</td> <td>2回</td> <td>R3年度</td> <td>2回</td> <td>R4年度(目標)</td> <td>2回</td> </tr> </table>		H30年度	2回	R元年度	2回	R2年度	2回	R3年度	2回	R4年度(目標)	2回																				
H30年度	2回	R元年度	2回	R2年度	2回	R3年度	2回	R4年度(目標)	2回																						
特別な支援を要する児童生徒の指導に関する実践的研修の実施	多様な教育的ニーズに対応した専門研修プログラムの開発により、障がいの重度・重複化、多様化に対応できる特別支援教育担当教員の指導力の向上や、発達障がいに対応できる小・中学校の教員の養成に努めるとともに、特別支援教育の中心的役割を担う特別支援教育コーディネーターの専門性及び資質の向上を図る。																														
<p>研修開催回数</p> <table border="1"> <tr> <td>H30年度</td> <td>2回</td> <td>R元年度</td> <td>2回</td> <td>R2年度</td> <td>1回</td> <td>R3年度</td> <td>1回</td> <td>R4年度(目標)</td> <td>1回</td> </tr> </table>		H30年度	2回	R元年度	2回	R2年度	1回	R3年度	1回	R4年度(目標)	1回																				
H30年度	2回	R元年度	2回	R2年度	1回	R3年度	1回	R4年度(目標)	1回																						
開拓の歴史や川南の自然・文化財等を活用した「ふるさと学習」の充実	川南における自然、環境、歴史、伝統(文化、芸能)、産業、生活(料理、行事)、文化など、地域の持つ豊かで多様な教育資源を活用しながら、地域のよさや課題について理解を深め、「ふるさと川南」に対する誇りや愛着を育む。																														
<p>活用した学校数</p> <table border="1"> <tr> <td>H29年度</td> <td>7校</td> <td>120回</td> <td>H30年度</td> <td>7校</td> <td>120回</td> <td>R元年度</td> <td>7校</td> <td>120回</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>7校</td> <td>120回</td> <td>R3年度</td> <td>7校</td> <td>120回</td> <td>R4年度(目標)</td> <td>7校</td> <td>120回</td> </tr> </table> <p>活用した団体数</p> <table border="1"> <tr> <td>H29年度</td> <td>10団体</td> <td>H30年度</td> <td>10団体</td> <td>R元年度</td> <td>10団体</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>10団体</td> <td>R3年度</td> <td>10団体</td> <td>R4年度(目標)</td> <td>10団体</td> </tr> </table>		H29年度	7校	120回	H30年度	7校	120回	R元年度	7校	120回	R2年度	7校	120回	R3年度	7校	120回	R4年度(目標)	7校	120回	H29年度	10団体	H30年度	10団体	R元年度	10団体	R2年度	10団体	R3年度	10団体	R4年度(目標)	10団体
H29年度	7校	120回	H30年度	7校	120回	R元年度	7校	120回																							
R2年度	7校	120回	R3年度	7校	120回	R4年度(目標)	7校	120回																							
H29年度	10団体	H30年度	10団体	R元年度	10団体																										
R2年度	10団体	R3年度	10団体	R4年度(目標)	10団体																										
地域における体験活動の推進及び地域活動に参画できる体制づくりの推進	学校や児童生徒が地域の活動に参画できるよう、学校運営協議会や地域学校協働活動本部との連携を図る。																														
<p>連携・協働による取組学校数</p> <table border="1"> <tr> <td>R3年度</td> <td>7校</td> <td>R4年度(目標)</td> <td>7校</td> </tr> </table>		R3年度	7校	R4年度(目標)	7校																										
R3年度	7校	R4年度(目標)	7校																												
学校行事や総合的な学習の時間等を活用した町歌斉唱や郷土芸能の伝承活動の推進	川南における自然、環境、歴史、伝統(文化、芸能)、産業、生活(料理、行事)、文化など、地域の持つ豊かで多様な教育資源を活用しながら、地域のよさや課題について理解を深め、「ふるさと川南」に対する誇りや愛着を育む。																														
<p>運動会等で伝統芸能を発表した学校数</p> <table border="1"> <tr> <td>H28年度</td> <td>7校</td> <td>H30年度</td> <td>7校</td> <td>R元年度</td> <td>7校</td> <td>R2年度</td> <td>7校</td> <td>R3年度</td> <td>7校</td> <td>R4年度(目標)</td> <td>7校</td> </tr> </table>		H28年度	7校	H30年度	7校	R元年度	7校	R2年度	7校	R3年度	7校	R4年度(目標)	7校																		
H28年度	7校	H30年度	7校	R元年度	7校	R2年度	7校	R3年度	7校	R4年度(目標)	7校																				
三大開拓地交流事業の推進	日本三大開拓地間の児童生徒の交流を促進することで、先人の残した業績を知り、地元への愛着とこれから町内外へ社会的貢献をしていこうとする態度を育成する。																														
<p>参加人数</p> <table border="1"> <tr> <td>H30年度</td> <td>21人</td> <td>R元年度</td> <td>20人</td> <td>R2年度</td> <td>未実施</td> <td>R3年度</td> <td>未実施</td> <td>R4年度</td> <td>翌年度へ順延</td> </tr> </table>		H30年度	21人	R元年度	20人	R2年度	未実施	R3年度	未実施	R4年度	翌年度へ順延																				
H30年度	21人	R元年度	20人	R2年度	未実施	R3年度	未実施	R4年度	翌年度へ順延																						

事業名等	内容
子ども会、公民館活動、ボランティア活動等への積極的参画の推進	子ども会、ボランティア活動、世代を超えた交流活動などの情報提供を行い、地域活動への子どもたちの積極的な参画を図り、地域のよさや課題にふれ、地域の一員として地域の課題解決に取り組む意識を高める。
子ども会加盟児童生徒数	H29年度 650人 H30年度 635人 R元年度 600人 R2年度 607人 R3年度 285人 R4年度(目標) 500人
小学校から中学校段階までの9年間を見通したキャリア教育の推進	各学校におけるキャリア教育の年間指導計画の見直しを図り、小中学校9年間の見通しをもったキャリア教育を推進し、児童生徒の発達段階に応じて、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力(基礎的・汎用的能力)の育成を図る。
地域との連携・協働による体験的・実践的なキャリア教育の推進	地域学校協働本部の活用を図り、地域の企業等との連携を推進し、実践的かつ体験的なキャリア教育の充実に取り組む。また、社会教育関係団体や企業、NPO法人、文化団体等の教育活動への参画を促すとともに、団体相互のネットワークの構築を図り、「子どもの夢や希望を育む」環境づくりを推進する。
企業等と連携した学校数	H29年度 7校 H30年 7校 R元年度 7校 R2年度 7校 R3年度 7校 R4年度(目標) 7校
勤労観・職業観等の価値観の形成・確立のための様々な学習や体験の推進	各学校でのキャリア教育を推進するために、職業講話、職場体験学習など具体的な活動の実施に努める。
実施回数	R2年度7校30回(延べ) R3年度7校23回(延べ) R4年度(目標)7校35回(延べ)
外国語指導助手(ALT)や地域在住外国人の活用による国際理解教育の推進	外国語指導助手(ALT)や地域の在住外国人を活用して、外国の文化や生活習慣等の正しい理解を深める教育の推進に努めるとともに郷土の伝統・文化を大切に教育を推進する。
地域在住外国人を活用した取組を実施した学校数	R3年度 0校 R4年度(目標) 7校
実践的なコミュニケーション能力の育成を図るための外国語教育の充実	各学校段階を通じた外国語教育の連携を図るとともに、外国語指導助手(ALT)や地域人材を活用し、発信力及びコミュニケーション能力の育成に努める。
英検(中学生)及び英検 Jr.(小6)の公費受験の実施と効果検証	外部検定試験の公費受験を行うことで、英語への興味関心を高め児童生徒の英語力及び英検3級取得率の向上を図る。
英検3級以上の取得率(中3)	R2年度 18.1% R3年度 42% R4年度(目標) 50%
教科におけるICT活用の推進及び教員のICT活用指導力の向上	情報通信技術(ICT)の活用やプログラミング教育等を通して、児童生徒の情報活用能力を育成するとともに、教員のICT活用指導力の向上や校務の情報化を図るなど、学校における教育の情報化を推進する。
コンピュータ教職員配置数 児童生徒用数	H27年度97.0% H28年度より100% R元年度218台 R2年度1115台 R3年度1253台 R4年度(目標)1283台
情報モラル教育の推進	各学校における情報モラル教育の推進を図り、児童生徒が正しく情報と向き合えるよう支援に努めるとともに、一人一台の端末の活用にあたっては世界中の人たちとつながることを考慮した情報モラルの確立に努める。
学校における情報モラル教育の実施回数	R3年度7校7回(延べ) R4年度(目標)7校7回(延べ)
地域や家庭との連携等による環境教育の推進	児童生徒の発達段階に応じた環境教育の指導計画を策定し、各学校における環境教育の推進に努める。

事業名等	内容
専門性を高め、使命感に徹し、地域の子どもたちとともに生きる教職員の育成	教職員評価制度における管理職と職員とのミーティングやフィードバックの充実を図るとともに、評価結果を積極的に活用することにより、人材育成を推進する。
教職員研修の充実とOJTの積極的な推進	教職員の資質向上を図るため、教育委員会が実施する体系的かつ計画的な研修の充実努めるとともに、各学校のニーズに応じた校内研修等のサポートや教育情報の提供を積極的に実施する。
初期研修 R元年度4回(初期研修) R2年度4回 R3年度4回 R4年度(予定)4回 10年経過研修 R元年度0回(対象者なし) R2年度1回 R3年度1回 R4年度(予定)対象者なし 町内視察研修 R元年度1回 R2年度1回 R3年度1回 R4年度(予定)1回	
川南町教育研究所の研修充実及び研究員と連携した研究内容の推進	教職員の資質の向上を目的に川南町学校教育研究所を設置、運営し、教職員が個人研究や共同研究を行える環境づくりを推進するとともに、各学校における研究内容の浸透を図る。
研究員数 H28年度 14人(各学校2人) H29年度 14人(各学校2人) H30年度 10人 R元年度 10人 R2年度 10人 R3年度 11人 R4年度 10人	
教職員の安全と健康を保持する校内体制の整備促進	学校における業務改善や心身の健康対策を推進し、健康で誇りとやりがいをもって能力を発揮できる環境の整備・充実に努める。
働き方改革に係る学校・家庭・地域の連携・協働体制づくりの推進	地域と一体となって特色ある学校づくりを進めるため、コミュニティ・スクールの取組のさらなる充実を図るとともに、地域学校協働活動の充実を図り、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して取組を推進する。
地域ぐるみの学校安全体制の整備・充実	地域ぐるみで「自らの危機を予測し、回避する能力を高める」安全教育を小中9年間を通して、発達段階に応じて継続的に推進する。
避難訓練実施学校数 H29年度 7校 H30年度 7校 R元年度 7校 R2年度 7校 R3年度 7校 R4年度(目標) 7校 地域における避難訓練参加(通浜地区) H29年度 1回 H30年度 1回 R元年度 2回 R2年度 1回 R3年度 0回 R4年度(目標) 1回	
安全、安心な学校施設の整備	既存の建物・設備について、その性能を維持し将来にわたり安全、安心な活用を図るため計画的な早期保全による施設の長寿命化を推進する。また、快適な教育環境を整え、学習意欲の向上を目指す。
補修等工事 R元年度 工事38か所(小学校27、中学校11) ※工事及び10万円以上の修繕 R2年度 工事39か所(小学校21、中学校18) R3年度 工事44か所(小学校28、中学校16) R4年度(予定) 工事14か所(小学校13、中学校1)	
児童生徒が主体的に行動できる実践的な防災教育等の推進	安全に関して適切に判断する力や実践的な態度を育成するために、地域安全マップづくりや警察や消防等の専門家を活用した防犯・防災教室等の実施など効果的な取組に努め、生命尊重を基盤とした意図的かつ計画的な安全教育の推進に努める。
防犯教室の実施校 R元年度 4校 R2年度 5校 R3年度 5校 R4年度(目標) 5校 防災教室の実施校 R元年度 7校 R2年度 7校 R3年度 7校 R4年度(目標) 7校	
いじめの未然防止に係る具体的な取組の推進	いじめは決して許されないが、現実的にはどの子どもにも、どの学校にも起こり得るものであることを周知し、いじめ防止の徹底を図る。
いじめられたと回答した児童生徒数 R元年度 小学生169人 中学生14人 (いじめについてのアンケート) R2年度 小学生102人 中学生3人 R3年度 小学生136人 中学生14人 R4年度(目標) 小学生0人 中学生0人	

事業名等	内容
校内相談体制の充実のための支援	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家の活用とともに、適応指導教室（フロンティアルーム）との連携を図り、各学校における相談体制の充実に努める。
利用児童生徒数	H29年度 6人（町内不登校児童数 11人） H30年度 4人（町内不登校児童数 9人） R元年度 6人（町内不登校児童数 18人） R2年度 4人（町内不登校児童数 19人） R3年度 7人（町内不登校児童数 30人） R4年度 0人（町内不登校児童数目標 0人）
新設中学校の設置に向けた計画的な取組の推進	今後の少子化の進展を踏まえ、教育の質の向上や地域との連携による教育の推進、生徒にとってより良い教育環境を提供するための新設中学校の在り方について、学校再編検討委員会及び川南町新中学校設立推進委員会を設置して協議する。
開催回数	R3年度 学校規模適正化審議会による協議5回及び住民説明会 5回 R4年度（目標）※学校再編検討委員会4回及び川南町新中学校設立推進委員会4回（部会による）
川南町育英会資金の貸与等による修学支援の充実	向学心に富みながら経済的理由により修学が困難な生徒に対する支援として、川南町育英会資金の貸与を勧める。
貸与者数	H30年度 42人 R元年度 43人 R2年度 37人 R3年度 31人 R4年度（目標）29人
文化連盟の活動支援	文化連盟の活動を支援することにより、町民が文化に親しむ機会を充実させるとともに、町民の文化活動を支える環境の整備に努める。
文化財保護審議会の開催	町民の文化活動をより一層活性化するため、学識経験者などからなる委員会を開催し、意見を反映させることで、教育機関、企業等と行政とが相互に連携、協働できる体制の整備に努める。
開催回数	H30年度 3回 R元年度 2回 R2年度 2回 R3年度 2回 R4年度（目標）2回
特色ある文化資源の保存及び情報発信と活用	長い歴史と豊かな風土に培われ守り伝えられた有形、無形の文化財を、大切に保護、継承し、積極的に活用する環境づくりを推進する。
開催回数	H30年度 44回 R元年度 44回 R2年度 44回 R3年度 46回 R4年度（目標）46回
文化財保護の啓発（文化財パンフレットの活用）	本町の様々な文化資源の魅力について町民が理解を深め、活用につなげられるよう、文化資源の活用や情報発信に取り組む。
フェイスブック掲載	H30年度 3回 R元年度 4回 R2年度 0回 R3年度 6回 R4年度（目標）4回
郷土芸能の伝承活動の充実（通浜三尺棒踊り、登り口奴踊り、沓袋百萬遍、川南盆踊り、唐瀬子ども神楽）	これまでに町民が培ってきた生活に根ざした文化や地域の伝統文化を風化させることなく、確実に次世代に継承するため、子どもたちに文化を伝える機会の提供や、地域に残る文化の保存に努める。
郷土芸能の伝承活動に取り組む学校数	H29年度 7校 H30年度 7校 R元年度 7校 R2年度 7校 R3年度 7校 R4年度（目標）7校
国民文化祭の開催	令和3年度「国民文化祭」を開催し、町民の文化に対する意識の向上及び文化財に対する理解と関心を深める。
図書館、文化ホールの利用支援	文化に係る各分野における鑑賞、学習、交流、連携など、文化を育む拠点としての機能の充実に努め、町民にとってより身近で活用しやすい施設づくりに努める。（指定管理者により実施）
図書館利用者数	H29年度 70832人 H30年度 66382人 R元年度 56062人 R2年度 29640人 R3年度 36963人 R4年度（目標）50000人
文化ホール利用者数	H29年度 26305人 H30年度 22313人 R元年度 19926人 R2年度 4200人 R3年度 10186人 R4年度（目標）20000人
文化意識向上の推進（文化ホール運営委員会）	町民の代表者である有識者等が、文化ホール運営や町民の文化面の充実に向けて協議する。（指定管理者により実施）
開催回数	H30年度 3回 R元年度 1回 R2年度 2回 R3年度 2回 R4年度（目標）2回

事業名等	内容
かわみなみ歌声あふれるまちづくり事業の充実 (一般、学生、児童生徒)	町内外の合唱団の交流による音楽のまちづくり ・コンサート(8・3月) ・ミニコンサート(年2回) ・合唱団交流(年2回) ・合唱指導(小・中・高・一般)
サマーコンサート参加者数	H29年度 592人 H30年度 346人 R元年度 427人 R2年度 中止 R3年度 137人 R4年度(目標) 300人
スプリングコンサート参加者数	H29年度 466人 H30年度 450人 R元年度 *中止 R2年度 中止 R3年度 中止 R4年度(目標) 300人
文化財を活用した生涯学習講座の企画・実施	夏季休業中に企画予定
スポーツ少年団入団式の開催	年度初めにスポーツ少年団員が集い入団式を行うことにより、少年団員としての自覚をもち、決意を新たにする場とする。
参加団体数	R元年度 20団体 R2年度 中止 R3年度 中止 R4年度(目標) 20団体
参加者数	R元年度 413人 R2年度 0人 R3年度 0人 R4年度(目標) 350人
スポーツ少年団指導者講習会等各種研修会の開催	スポーツ団体、体育・レクリエーション指導者を対象に各種研修会に派遣するとともに実技研修等を行い指導者としての資質の向上を図り、生涯スポーツの推進と充実を図る。
開催回数	H30年度 5回 R元年度 5回 R2年度 0回 R3年度 0回 R4年度(目標) 3回
スポーツ少年団交流大会の開催	スポーツ少年団活動の活性化を促進し、団相互の交流と親睦を図るとともに、心身ともに健全な青少年育成を目的に開催する。
開催回数	R元年度 1回 R2年度 1回 R3年度 中止 R4年度(目標) 1回
参加者数	R元年度 137人 R2年度 149人 R3年度 0人 R4年度(目標) 150人
各種スポーツ団体の育成及び活動の推進(スポーツ団体活性化事業)	スポーツ団体への指導助言及び財政的支援を行い、スポーツの振興とスポーツ団体の発展・活性化を図る。
町内のスポーツ団体数	H30年度 39団体 R元年度 40団体 R2年度 39団体 R3年度 43団体 R4年度(目標) 45団体
スポーツ推進委員会の開催	地域の生涯スポーツの普及のために、学識経験者やスポーツ経験者等からなる推進委員会を設置し、多方面から意見を求め、本町のスポーツ振興施策に生かす。
開催回数	H30年度 12回 R元年度 12回 R2年度 8回 R3年度 11回 R4年度(目標) 12回
スポーツ教室(全町民)	健康増進、体力向上、競技力向上を図るとともに、スポーツの振興と生涯スポーツの推進を図る。
開催回数	R元年度 30回 R2年度 10回 R3年度 6回 R4年度(目標) 12回
参加者延べ人数	R元年度 558人 R2年度 146人 R3年度 204人 R4年度(目標) 300人
町民バレーボール大会(全町民)	健康増進と体力向上を図るとともに、世代間の交流親睦を深め町民相互の連帯感を育み、地域の活性化を図る。
開催回数	R元年度 1回 R2年度 中止 R3年度 中止 R4年度(目標) 1回
参加者延べ人数	R元年度 286人 R2年度 0人 R3年度 0人 R4年度(目標) 450人
町民スポーツ祭(町民体育大会)の開催	オリンピック開催年に町民が一堂に会し、スポーツの振興、町民の元気、魅力、各地域の地域力を発信する。
開催回数	H24年度 1回 H28年度 1回 R3年度 中止 R6年度(目標) 1回
参加者延べ人数	H24年度 1200人 H28年度 1682人 R3年度 0人 R6年度(目標) 1000人

事業名等	内容
地域住民自ら主体となって運営するスポーツクラブの在り方の検討	誰でも、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しむことができるような地域の日常的なスポーツ活動の場として、地域住民自ら主体となって運営するスポーツクラブの在り方の検討し、その整備に努める。
スポーツ少年団、各種スポーツ団体の活動の充実及び連携推進	スポーツ少年団や各種スポーツ団体の活動の充実及び連携を推進することで、次代を担う子どもたちの体力・運動能力の向上を図るとともに、成人のスポーツ実施率を上げ、総合的に生涯スポーツの振興を図る。
ロードレース大会 in かわみなみの充実	ランニング愛好者等の健康と体力増進、スポーツイベントを通じた交流の輪の広がりによる地域活性化を図る。
参加者数 R元年度 755人 R2年度 中止 R3年度 中止 R4年度(目標) 800人	
各種スポーツ施設の管理、利用者間の調整	スポーツ施設の利便性の向上に努めるとともに、より多くの町民が様々なスポーツで利用できるよう施設利用の調整と施設の充実を図る。
利用者数 H29年度 88095人 H30年度 90230人 R元年度 97480人 R2年度 69188人 R3年度 57782人 R4年度(目標) 80000人	
体育・保健体育の学習指導の充実	各学校における体力・運動能力調査の結果を踏まえ、体育、保健体育の学習指導の充実を図る。
学校における体力づくりの推進	体力づくりの推進を目指し、各学校において立腰指導や体力向上プランの計画的かつ継続的な実践に努める。
A・B判定児童生徒数の割合 R2年度 未実施 R3年度 48% R4年度(目標) 50%	
食育(食の役割啓発及び地産地消、弁当の日)の推進	食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付け、生涯にわたって健やかな心身を育むための基礎を培うため、家庭や地域などと連携しながら、学校における食に関する指導の充実や地場産物の活用、「弁当の日」の推進に取り組む。
弁当の日実施校 R元年度 5校 各2回、2校 各3回 R2年度 3校 各2回、4校 各1回 R3年度 5校 各2回、1校 各3回、1校1回 R4年度(目標) 7校 各2回 浜うどん R元年度 3回 R2年度 3回 R3年度 3回 R4年度(目標) 3回 トロン汁 R元年度 2回 R2年度 2回 R3年度 2回 R4年度(目標) 2回 食に関するT・T授業 R元年度 21回 R2年度 9回 R3年度 15回 R4年度(目標) 20回	
健康教育(薬物乱用防止教育、性教育等)の推進	身近な生活に潜む薬物乱用、感染症の問題など、新たな健康課題にも対応しながら健康教育の推進を図る。
薬物乱用防止教室の実施校 R元年度 5校 R2年度 6校 R3年度 6校 R4年度(目標) 7校 性教育の授業の実施校 R元年度 7校 R2年度 6校 R3年度 6校 R4年度(目標) 7校	
安全、安心な学校給食の実施と衛生管理の徹底	栄養教諭等を中核とした学校、家庭、地域の連携による食に関する指導の推進体制の整備に努めるとともに、食物アレルギー対策など安全、安心な学校給食の実施に取り組む。
食物アレルギー対応マニュアルの整備 H28年度作成 平成29年度運用開始 児童生徒が献立どおり給食を食べられる日数の割合 R元年度 97.9% R2年度 95.8% R3年度 99.0% R4年度(目標) 100%	
給食費の公会計化の検討	学校給食費徴収・管理業務の実施主体を学校から町へ移管するため、給食費会計の公会計化を検討する。
運動習慣のきっかけづくりの支援	町民がスポーツに興味・関心をもち、スポーツの習慣化を図るため、県や関係機関等と連携し、魅力あるスポーツ関連事業を展開できるような環境づくりに努める。

令和5年度から令和7年度までの児童・生徒及び学級数増減見込み

令和5年度

小学校名	児童数及び学級数見込									中学校名	生徒数及び学級数見込					
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	知的	自・情	計		1学年	2学年	3学年	知的	自・情	計
川南小学校	2	2	2	2	2	2	1	3	16	唐瀬原中学校	3	3	3	1	2	12
	59	55	46	53	74	62	3	23	375		88	90	84	5	13	280
通山小学校	1	1	1	1	1	1	1	1	8	国光原中学校	2	1	2	0	1	6
	16	23	27	20	24	34	4	6	154		55	37	54	0	4	150
東小学校	1	1	1	1	1	1	1	1	8	合 計	5	4	5	1	3	18
	12	13	14	18	12	22	3	6	100		143	127	138	5	17	430
多賀小学校	1	1	1	1	1	1	0	1	7							
	6	5	10	11	14	14	0	3	63							
山本小学校	1	1	1	1	1	1	1	1	8							
	10	8	6	14	15	13	2	8	76							
合 計	6	6	6	6	6	6	4	7	47							
	103	104	103	116	139	145	12	46	768							

令和6年度

小学校名	児童数及び学級数見込									中学校名	生徒数及び学級数見込					
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	知的	自・情	計		1学年	2学年	3学年	知的	自・情	計
川南小学校	2	2	2	2	2	2	1	3	16	唐瀬原中学校	3	3	3	1	2	12
	45	59	55	46	53	74	3	22	357		87	88	90	6	12	283
通山小学校	1	1	1	1	1	1	1	1	8	国光原中学校	2	2	1	1	1	7
	28	16	23	27	20	24	2	7	147		59	55	37	2	4	157
東小学校	1	1	1	1	1	1	1	1	8	合 計	5	5	4	2	3	19
	11	12	13	14	18	12	4	6	90		146	143	127	8	16	440
多賀小学校	1	1	1	1	1	1	0	1	7							
	8	6	5	10	11	14	0	2	56							
山本小学校	1	1	1	1	1	1	1	2	9							
	9	10	8	6	14	15	2	11	75							
合 計	6	6	6	6	6	6	4	8	48							
	101	103	104	103	116	139	11	48	725							

令和7年度

小学校名	児童数及び学級数見込									中学校名	生徒数及び学級数見込					
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	知的	自・情	計		1学年	2学年	3学年	知的	自・情	計
川南小学校	2	2	2	2	2	2	1	3	16	唐瀬原中学校	3	3	3	1	2	12
	51	45	59	55	46	53	3	19	331		94	87	88	7	15	291
通山小学校	1	1	1	1	1	1	1	1	8	国光原中学校	2	2	2	1	1	8
	27	28	16	23	27	20	2	7	150		47	59	55	2	4	167
東小学校	1	1	1	1	1	1	1	1	8	合 計	5	5	5	2	3	20
	7	11	12	13	14	18	1	5	81		141	146	143	9	19	458
多賀小学校	1	1	1	1	1	1	0	1	7							
	4	8	6	5	10	11	0	2	46							
山本小学校	1	1	1	1	1	1	1	2	9							
	14	9	10	8	6	14	2	11	74							
合 計	6	6	6	6	6	6	4	8	48							
	103	101	103	104	103	116	8	44	682							

令和4年度学校給食計画

1 学校給食共同調理場の役割について

児童生徒に安全・安心な給食を安定的に提供するため、学校給食共同調理場では、食の安全性に対して常に高い危機意識を持ち、各マニュアルに基づいた衛生管理の徹底を第一に管理運営をする。また、地場産物を活用した栄養バランスの取れた給食提供に努め、児童生徒の健やかな心身を育むとともに、食物アレルギーに対応した給食提供を行う。

さらに、栄養教諭・学校栄養職員の専門性をいかし、各学校と連携した食に関する指導を進め、望ましい食生活の実現を図る。

2 学校給食費

	1食あたりの単価	年間実施試算日数	月額食材費等分	月額光熱水費分	月額学校給食費	年額学校給食費総額
小学校	225円	194日	3,980円	20円	4,000円	44,000円
中学校	261円	193日	4,580円	20円	4,600円	50,600円

* 年額学校給食費は、11か月分

3 学校給食費会計予算

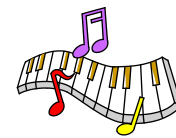
単位：円

歳入		歳出	
1 給食費納入金	64,909,000	1 給食費	64,906,000
2 町支出金	2,200,000	光熱水費	310,000
3 財産収入	1,000	賄材料費	64,596,000
4 繰入金	1,000	2 川南町学校給食地産地消促進事業	2,230,000
5 繰越金	1,000	賄材料費	2,230,000
6 諸収入	25,000	3 積立金	1,000
計	67,137,000	計	67,137,000

4 職員配置

- ・ 教育課長 町職員 1人
- ・ 所長 町職員 1人
- ・ 栄養教諭 県職員 1人
- ・ 学校栄養職員 県職員 1人
- ・ 事務職員 会計年度任用職員(パート職員) 1人
- ・ 調理及び配送業務 委託 株式会社総合人材センター
開始 令和元年 8月 1日
終了 令和4年 7月 31日

令和4年8月1日以降 業者未定



1 目的

学校に登校できないお子さんや保護者の方に対して、教育相談や教育支援等を行います。

2 基本方針

- (1)教育相談や学習指導等、一人一人に応じた適切な支援を行うことにより、学校生活への復帰を目指します。
- (2)個別指導と集団における指導を行い、学校生活・社会生活に必要なマナーを体得し、自立を促し、社会性を育成していきます。
- (3)学校及び保護者、関係機関と連携を図り、支援に努めるとともに、不登校の解消に関する調査研究を行います。

3 対象

川南町内の小・中学校に在籍し、学校への復帰を図ろうとするお子さん

- (1)学校への登校が困難で、継続的または長期欠席のお子さん
- (2)不安や心身の不調を訴える等、心因的に不安定な状況にあるお子さん
- (3)自宅に引きこもり、保護者の方も不登校として認知しているお子さん
- (4)特に生徒指導上の問題行動(暴力行為や不純異性交遊等)がないお子さん

4 指導員

- ・ フロンティアルーム指導員(1名)



5 指導・相談の概要

- (1)指導内容
 - ア 教育相談による支援
 - イ 体験学習等による自発性の育成
 - ウ 一人一人に応じた登校意欲及び学習意欲の促進
 - エ 学習に関する支援
 - オ 保護者の方への教育相談及び助言
- (2)指導時間
 - ・ 午前9時から正午まで
- (3)面接、教育相談の時間
 - ・ 午後1時から午後3時まで
- (4)実施曜日

月曜日～金曜日(土日、祝日は除く)

6 開設期間

- ・ 令和3年4月1日～令和4年3月31日
(通室は学校の授業日に準じます。)

7 入室手続き

- ① お子さん、保護者の方と学校との話し合い
- ② フロンティアルーム指導員等による面接
- ③ フロンティアルーム指導員から入室許可の連絡後、入室



8 基本的な一日の流れ

時刻	活動内容
9:00	学習タイム1
10:10	
10:30	リフレッシュタイム
11:30	学習タイム2
11:40	清掃
12:00	振り返りの時間
13:00	個別教育相談
15:00	

9 学習内容

- (1)学習タイム
 - ア 自分の学力や進路を考えて学習計画を立て、自学自習に取り組みます。
 - イ 読書をしたり、奉仕活動やボランティア活動などの体験活動を行います。
 - (2)リフレッシュタイム
 - ア 公園内を散歩をしたり、図書館で本の選書を行ったりします。
- ※ 希望により、教育相談を行います。

10 その他

- (1)所属学校と連携を密にして、指導の効果が上がるように努めます。
- (2)関係機関と連携を図っていきます。
- (3)必要に応じて、保護者の集いを実施します。



川南町生涯学習センター
(トレントロンドーム南側建物3階)

〔連絡先〕

フロンティアルーム(川南町生涯学習センター3階)

事務局

川南町教育委員会教育課
(川南町生涯学習センター2階)
川南町大字平田2386番地3
電話 27-8019
ファックス 27-1028

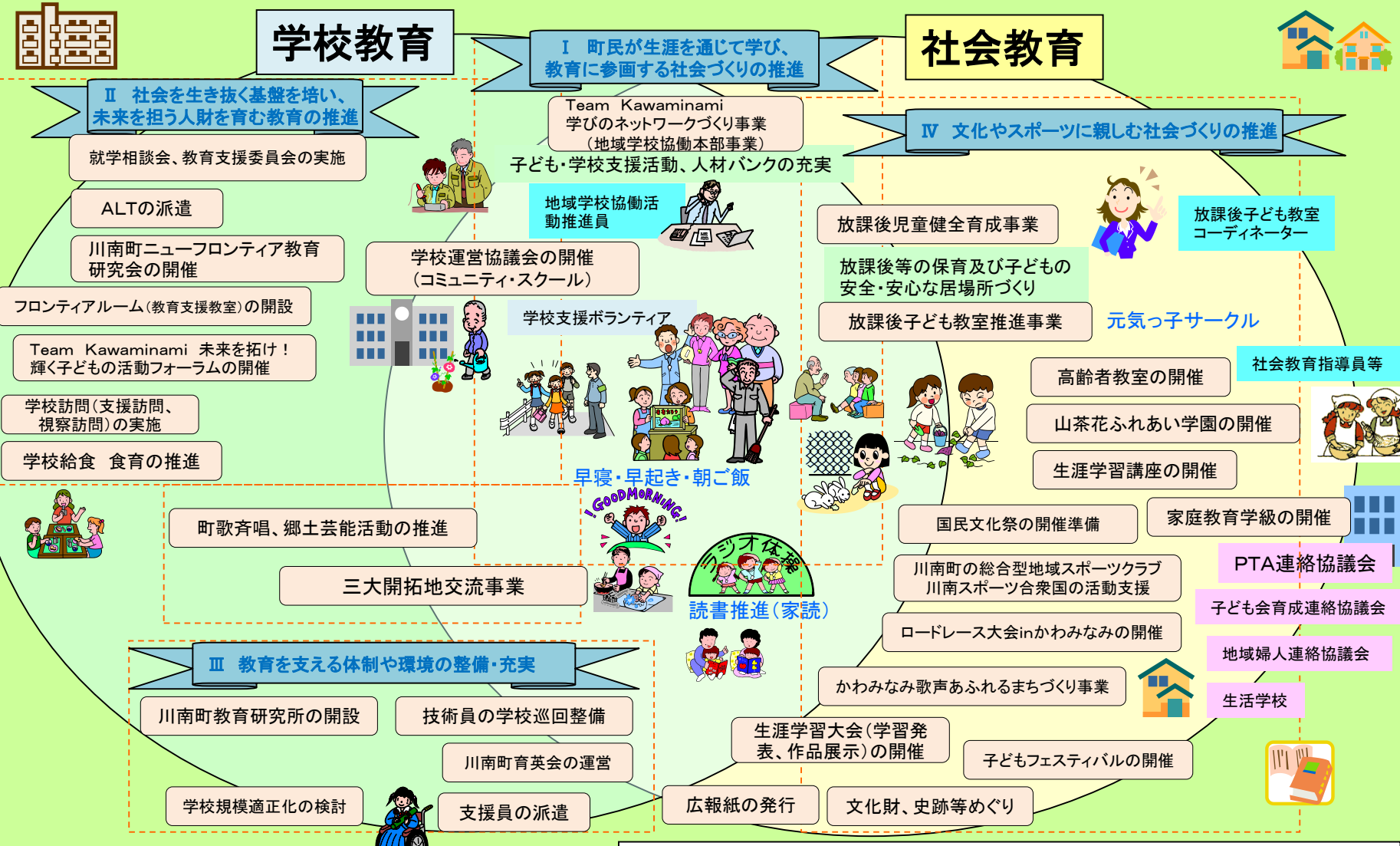


令和4年度ふるさと川南の教育「教育課主な施策等」

ふるさと川南を愛し 未来を拓く 心豊かでたくましい 川南の人づくり

学校教育

社会教育



※ 川南町教育大綱の確実な推進

- 会議 ... 総合教育会議
 事務局 ... 教育委員会 社会教育委員 図書館協議会 文化財保護審議会 文化ホール運営委員会
 川南湿原保護委員会 スポーツ推進委員 子育て支援ネットワーク協議会
 川南町青少年健全育成協議会 子ども会育成連絡協議会 各種女性団体連絡協議会
 川南町体育協会

令和4年度 川南町小・中学校校長会組織表

役 職 名	所 属 学 校	氏 名	備 考
会 長	国光原中学校	小 野 智 充	川南町校長会の代表で県校長会出会 川南町教育委員会との連絡調整 川南町校長会の運営
副 会 長	山本小学校	根 井 誠	会長補佐 会長代行 会長と総合教育会議出席
書 記	通山小学校	川 野 敏 広	川南町校長会研修会案内文発送 毎月1回定期開催予定 研修会の司会は輪番制
会 計	東小学校	後藤田 武 志	県校長会納入会費徴収 川南町校長会懇親会世話 慶弔関係
研 修 部 長	多賀小学校	土 屋 貴 代	校長会研修世話役 宮教研連

留 意 事 項

- 1 会長・副会長は、小学校5校，中学校2校の学校数を考慮して決定する。
- 2 川南町ニューフロンティア世話役は、校長会で決定する。
- 3 宮崎県校長会納入会費は、毎月会計校長が徴収する。校長会懇親会の企画運営等を行う。
- 4 令和4年度の児湯小・中学校校長会の割当役職
 - ・広報委員会 (川 野 敏 広 ※通山小)
 - ・教 研 連 (土 屋 貴 代 ※多賀小)
 - ・海外教育事情研 (小 野 智 充 ※国光原中)

令和4年度 川南町小・中学校教頭会組織表

会 長	川越 和俊 (東小)	研 修 部 長	川越 和俊 (東小)
副 会 長	郡 守 (唐瀬原中)	町P T A連絡協議会	森 紀彦 (川南小)
副 会 長	三角 勝広 (山本小)	郡P T A連絡協議会	森 紀彦 (川南小)
会計・渉外	野中 里絵 (通山小)		

令和4年度 川南町校長会 各種委員会組織

		委員会等	氏名	学校	備考
1	校長会	会長	小野 智 充	国光原中	
2		副会長	根 井 誠	山本小	
3		書記	川 野 敏 広	通山小	町校長会開催文書発送
4		会計	後藤田 武 志	東小	県・町校長会会費納入等
5		研修部長	土 屋 貴 代	多賀小	宮教研蓮
6		町教育支援委員会委員長	小 島 信 二	川南小	N F 特別支援教育部会長
7		町社会教育委員	川 野 敏 広	通山小	
8		町PTA連絡協議会	輪番 小島 信二	川南小	川南→通山→東→多賀 →山本→唐中→国中
9		町教頭会	根 井 誠	山本小	副会長職を充てる
10		青少年健全育成協議会	小 根井 誠	山本小	会長・副会長出席 年2回会議
			中 小野智充	国光原中	
11		人権・同和教育	日 高 亘	唐瀬原中	西都・児湯地区人権・同和教育研究大会実行委員
12		町総合教育会議	小 根井 誠	山本小	会長・副会長
			中 小野智充	国光原中	
13		町男女共同参画審議会委員	小 島 信 二	川南小	川南小固定（令和3年度未開催）
14		町給食指導研究会会長	小 島 信 二	川南小	川南小固定
15		地区共同実施推進会議会長	小 島 信 二	川南小	室長所属学校長
16		町こども・子育て審議会	小 野 智 充	国光原中	会長（令和3年度未開催）
17		町要保護児童対策協議会	小 野 智 充	国光原中	会長、（該当児童所属校長）
18		町スポーツ合衆国	日 高 亘	唐瀬原中	（オブザーバー参加）
19		ロードレース大会inかわみなみ実行委員	日 高 亘	唐瀬原中	中学校（ボランティア参加）

令和4年度 川南町ニューフロンティア（NF）教育研究会

	担当	氏名	学校名	備考
	会長	土 屋 貴 代	多賀小	当該校教頭が事務局長
	副会長	小 野 智 充	国光原中	町校長会会長職を充てる
	唐中校区研究会	三 角 勝 広	山本小	輪番(唐中→川小→山小→東小)
	国中校区研究会	由 浅 公 章	国光原中	輪番(国中→通小→多小)
専門部会	教育計画部会	川 野 敏 広	通山小	校務支援システムの導入
	音楽教育部会	野 中 里 絵	通山小	レインボーフェスタ（11月）
	図書館教育部会	小 野 智 充	国光原中	
	健康教育部会	川 越 和 俊	東小	児湯地区学校保健大会
	特別支援教育部会	小 島 信 二	川南小	
	生徒指導部会	郡 守	唐瀬原中	レインボーサミット（8月）
	体育部会	根 井 誠	山本小	陸上記録会（11月）
	ICT教育部会	後藤田 武 志	東小	
	英語教育部会	日 高 亘	唐瀬原中	

令和4年度学校医・学校歯科医及び薬剤師

学 校 名	内科医師	歯科医師	眼科医師	耳鼻咽喉科医師	薬剤師
川南小学校	喜多保一郎	濱本 伸治	蟻塚 高生	鳥原 康治	森岡 栄一
通山小学校					長船 克彦
東小学校					江上 郁代
多賀小学校					長船 克彦
山本小学校					森岡 栄一
唐瀬原中学校		江上 郁代			
国光原中学校		長船 克彦			
		三浦 誠志			

喜多保一郎 電話27-1711 川南町大字平田2380
 濱本 伸治 電話27-4860 川南町大字平田2372-30
 三浦 誠志 電話27-6473 川南町大字川南13593-1 (まこと歯科)
 蟻塚 高生 電話23-2316 高鍋町大字北高鍋785
 森岡 栄一 電話27-0822 川南町大字平田1402-76 (オレンジ調剤薬局)
 長船 克彦 電話27-0170 川南町大字平田2380-9 (トロン調剤薬局)
 江上 郁代 電話21-3880 川南町大字川南13681-5 (川南調剤薬局)
 鳥原 康治 電話32-8733 高鍋町大字上江8127 (たかなべ耳鼻咽喉科クリニック)

※ スクールカウンセラー
 高野 美智子 (唐瀬原中)
 岩切 隆志 (国光原中)

教育課事務分掌表

課長 山本 博

教育課長

事務内容	主務者	副主務者
1 教育委員会に関する事 2 学校の設置及び廃止並びに組織及び編成に関する事。	課長 山本 博	専任課長補佐 橋口 実 補佐兼係長 押川 明雄

学校教育係

事務内容	主務者	副主務者
1 教職員に関する事。 2 事務局及び学校以外の教育機関の組織に関する事。 3 その他学校教育に関する事。	教育対策監 平部 至識	課長 山本 博 指導主事 草刈 淳
1 教育委員会に関する事。(再掲) 2 教育委員会関係の叙位叙勲及び褒章に関する事。 3 公印の取扱に関する事。 4 法規等の事務に関する事。 5 事務局職員の任免、分限、給与、研修その他の人事に関する事。 6 教職員に関する事。(再掲) 7 事務局及び学校以外の教育機関の組織に関する事。(再掲) 8 教育行政に関する苦情、相談等に関する事。 9 その他学校教育に関する事。(再掲)	専任課長補佐 橋口 実	課長 山本 博
1 その他学校教育に関する事。(再掲) 2 青少年健全育成に関する事。(生涯学習係)	係長 今井 妙	主事 平木 奈菜美 2は、 生涯学習係員
1 学校の設置及び廃止並びに組織及び編成に関する事。(再掲) 2 その他学校教育に関する事。(再掲)	指導主事 草刈 淳	教育対策監 平部 至識 教育支援教室指導員 宇田津 眞理
1 児童生徒に関する事。 2 教科書に関する事。 3 育英会事業に関する事。 4 その他学校教育に関する事。(再掲)	主事 平木 奈菜美	係長 今井 妙

教育施設係

事務内容	主務者	副主務者
1 教育施設及び設備の維持管理に関すること。 2 教職員住宅に関すること。 3 教育財産台帳に関すること。	係長 今山 直樹	専任課長補佐 橋口 実
1 教育施設及び設備の維持管理に関すること。(再掲)	専門技術員 田原 憲浩	係長 今山 直樹 会計年度任用職員 黒木 一志 金丸 和男 杉尾 友宏 黒木 克彦 森崎 英明

学校給食共同調理場

事務内容	主務者	副主務者
1 施設設備の維持管理及び衛生管理に関すること。 2 学校給食共同調理場運営協議会に関すること。 3 学校給食会の事務に関すること。 4 その他学校給食に関すること。	所長 三原 康宏	栄養教諭 河野 あかり 技師 都原 奈穂
1 学校給食の献立作成及び栄養管理に関すること。 2 食育に関すること。 3 その他学校給食に関すること。(再掲)	栄養教諭 河野 あかり	所長 三原 康宏 技師 都原 奈穂

生涯学習係

事務内容	主務者	副主務者
1 生涯学習の推進に関すること。 2 社会教育委員に関すること。 3 社会教育団体に関すること。 4 家庭教育支援に関すること。 5 各種講座の開設、講演会及び展示会の開催並びに学習機会の提供に関すること。 6 その他社会教育に関すること。	補佐兼係長 押川 明雄	主任主事 楠本 さき 会計年度任用職員 安藤 恭恵 社会教育指導員 森 隆茂 樋高 智子
1 生涯学習の推進に関すること。(再掲) 2 各種講座の開設、講演会及び展示会の開催並びに学習機会の提供に関すること。(再掲)	主任主事 楠本 さき	補佐兼係長 押川 明雄 会計年度任用職員 内藤 あゆみ
1 青少年健全育成に関すること。(再掲)	(兼務) 学校教育係長 今井 妙	補佐兼係長 押川 明雄 主任主事 楠本 さき

文化スポーツ係

事務内容	主務者	副主務者
1 文化ホール及び図書館に関すること。	補佐兼係長 押川 明雄	係長 緒方 恵美
1 スポーツ及びレクリエーションの推進に関する こと。 2 スポーツ団体の育成及び指導に関すること。 3 文化ホール及び図書館に関すること。(再掲) 4 文化ホール運営協議会及び図書館協議会に関する こと。 5 文化団体の育成及び指導に関すること。	係長 緒方 恵美	主任技師 徳田 敬太 主査 川野 裕也
1 スポーツ及びレクリエーションの推進に関するこ と。(再掲) 2 スポーツ団体の育成及び指導に関すること。(再掲) 3 スポーツ施設の運営に関すること。	主査 川野 裕也	係長 緒方 恵美 主任技師 徳田 敬太 会計年度任用職員 海野 スミ子
1 文化財に関すること。 2 文化財保護審議会に関すること。	主任技師 徳田 敬太	係長 緒方 恵美 主査 川野 裕也

学校経営方針概要及び職員配置



川南小学校



通山小学校



東小学校



多賀小学校



山本小学校



唐瀬原中学校



国光原中学校



川南町教育委員会



令和4年度 川南町立川南小学校 学校経営方針

川南町教育基本方針

ふるさと川南を愛し、未来を拓く 心豊かでたくましい 川南の人づくり

学習指導要領
県教育方針

ふるさと川南
の教育

川南町NF
教育研究会

SDGs
ICT教育
ポストコロナ

キャリア形成
読解力の育成
「川南学」の推進
人権(命)教育
幼保小中連携

【学校の教育目標】

全力一心

「自ら学び、心豊かに、やさしく、かしこく、たくましく生きる児童の育成」

〈子ども像〉

やさしい子
かしこい子
たくましい子

〈教職員像〉

子どもと共に考える教師
子どもと共に伸びる教師
子どもと共に実践する教師

小学校6年間を通して
■自分に誇りを
■友に誇りを
■学校・地域に誇りを
もつ児童の育成を図る。

〈学校像〉

美しい学校
伸びる学校
楽しい学校

〈家庭像〉

会話のある家庭
共に学ぶ家庭
明るく健康な家庭

【学校経営の基本方針】

～地域が維持・発展するから子どもがいる。子どもがいるから学校がある。学校があるから先生がいる。～

- 恵まれた教育環境を生かし、川南小ならではの特色ある教育活動「かわみなみ学」を展開する。
- 学校運営協議会・地区公民館を核として、「地域と共に歩む学校づくり」を進める。
- 教職員一人一人が高いプロ意識をもって、生き生きと職務を全うする職場環境づくりに努める。

【身につけさせたい子どもの姿】

【学びづくり】

- 読解力・表現力をしっかり身に付けた児童
- 身に付けた学力を、生活に生かす児童
- 自分に合った学習・読書習慣を身に付けた児童

【豊かな心づくり】

- 進んで元気なあいさつ・返事ができる児童
- 人権感覚を身に付け、自他の命を大切にする児童
- 公共心を身に付け、社会に貢献する児童

【自律そして自立】

【体づくり】

- 命の尊さを理解し、危険予知・回避能力を身に付けた児童
- 規則正しい生活リズム、望ましい食習慣を身に付けた児童
- 遊びや各種活動を通じて、体力向上に努める児童

これら3つを、学校・家庭・地域間で目標を共有し、実施・達成していく。

下記のことを実践し、結果を公表します。

学力向上

キャリア形成

生命尊重

- ① 日々の授業等を通じて、確かな学力（特に読解力と表現力）を身に付けさせます。
(授業研究、ICT機器の活用、学力分析)
- ② 家庭学習について各家庭と共通理解・共通実践し、習慣化を目指します。
(家庭学習の手引きの活用)
- ③ 学校図書館の充実、家庭読書の習慣化、読み聞かせボランティアの活用等により、読書活動を推進します。
(積極的な作品投稿)

- ④ 日々の教育相談を充実し、児童の人間関係の悩み等の早期発見・早期解決に努め、深刻ないじめを出さないよう努めます
- ⑤ 特別支援教育、人権教育の充実に努め、望ましいコミュニケーション能力の育成に努めます。
- ⑥ 全職員で共通理解・実践し、道徳的实践力の向上及び望ましい生活習慣を定着させます
(SDGs活動、教児同行)

- ⑦ 防災教育を充実させ、自他の命を守る方法を身に付けさせます。
(避難訓練の向上)
- ⑧ 家庭と連携しながら、望ましい生活リズムの定着に努めます。
(早寝・早起き、朝ご飯)
(メディアコントロール)
- ⑨ 「体力向上プラン」に基づき、体育の時間の充実と外遊びの奨励により、体力の向上に努めます。
(立腰指導)

- ⑩ 幼稚園・保育所、町内小・中学校と連携し、幼保・小連携、小・小連携、小中一貫教育(小・中連携)の推進に努め、12～15年間を見通した教育を展開します。
【接続カリキュラム、スタートカリキュラム】
- ⑪ 地域の各種団体や企業、官公庁等と連携し、キャリア教育や「かわみなみ学」を推進します。
- ⑫ 福祉団体や子育て支援団体等と連携し、家庭教育支援、家庭支援に積極的に取り組みます。

【コミュニティ・スクール】

地域防災とSDGsによる地域活動の活性化

町・町教委等

学校運営協議会

P T A・地区公民館等

職員名簿

NO	職名	氏名	学年等	主任等		校務分掌
1	校長	小島 信二				
2	教頭	森 紀彦		総務	コミュニティスクール担当	
3	主幹教諭	仙田 勝一朗	理科専科 3年	教務主任	幼保小連携、小中連携、キャリア教育、コミュニティスクール、理科主任	教務部
4	教諭	小川 由美	1年1組	学年主任	幼保小連携担当	教務部
5	教諭	西村 響子	1年2組		生活科主任	生徒指導部
6	教諭	河野 治美	2年1組	学年主任	防災・安全教育担当	保体安全部
7	教諭	永友 宏汰	2年2組		生活科副主任	保体安全部
8	教諭	宇治橋 さおり	3年1組	学年主任	I C T・情報教育担当	研修推進部
9	教諭	阪本 有香	3年2組		掲示教育担当	学習指導部
10	教諭	福山 亜紀	4年1組	学年主任	特別活動主任	生徒指導部
11	教諭	田中 健斗	4年2組		体育主任	保体安全部
12	教諭	徳原 宏樹	5年1組	学年主任	社会科主任	保体安全部
13	教諭	小川 暁子	5年2組		家庭科主任、図書主任	学習指導部
14	教諭	松山 紅	6年1組	学年主任	総合的な学習の時間主任、福祉教育担当	研修推進部
15	教諭	桑幡 寿	6年2組		研究主任、道徳主任、キャリア教育担当	研修推進部
16	教諭	日高 紀世美	1・2年3組		国語主任	学習指導部
17	講師	稲子田 依子	3年3組		環境教育担当	生徒指導部
18	教諭	田野 恵理華	4年3組		音楽主任	生徒指導部
19	教諭	関 智美	5・6年3組		図画工作主任	学習指導部
20	教諭	猪野 美千代	3・5年4組	生徒指導主事	書写主任	生徒指導部
21	教諭	竹田 泰代	ことばの教室	特別支援教育コーディネーター	特別支援教育主任	学習指導部
22	教諭	高見 文子	学びの教室		人権教育担当	学習指導部
23	教諭	金丸 康子	拠点校指導教員		通山小・多賀小兼務	教務部
24	講師	和田 聖子	外国語専科	外国語主任	国際理解教育、通山小兼務	学習指導部
25	教諭	園田 敬子	算数少人数指導		4年1組、5年2学級担当	生徒指導部
26	教諭	草薙 綾子	算数少人数指導		4年2組、6年2学級担当	生徒指導部
27	講師	西 雄太朗	理科専科 4～6年		環境教育担当	生徒指導部
28	講師	中川 由美子	音楽専科 3～6年		主幹教諭マネジメント	教務部
29	講師	米元 舞	2年2組、3年2組		初期研修後補充	
30	養護教諭	近藤 恵子	保健室	保健主事	健康教育担当	保体安全部
31	栄養教諭	河野 あかり	共同調理場		給食主任、食育担当	保体安全部
32	教諭	古澤 夕紀子	(外国語専科)		(育児休業中)	(学習指導部)
33	事務主査	寺坂 昭洋	学校事務	町共同学校事務室長	事務全般、安全点検	事務部
34	技師	都原 奈穂	共同調理場		学校栄養職員	保体安全部
35	主事	中村 洋子	学校事務		事務全般	事務部
36	学校支援員	金丸 美穂			1・2年3組	
37	学校支援員	田上 美香			3年3組	
38	学校支援員	上園 久美子			4年3組	
39	学校支援員	黒木 広香			5・6年3組	
40	学校支援員	中武 直美			3・5年4組	
41	町事務	田中 聖枝			給食費、町費、体育館借用事務等	事務部
42	S S S	橋本 康代			印刷、製本、校内消毒等	
43	町図書事務	児玉 実涼			図書整理、図書環境整備等	

令和4年度 通山小学校の教育

《 学校の教育目標 》

心身ともにたくましく、自ら学び続ける力をもった児童の育成

<p>[めざす児童像]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自ら学び、深く考える子 ○ 思いやりがあり、礼儀正しい子 ○ 体をきたえ、元気な子 	<p>[めざす学校像]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 知性を磨き、伸ばす学校《 力いっぱい 》 ○ 思いやりと笑顔のあふれる学校《 やさしさいっぱい 》 ○ 明るく活力に満ちた学校《 元気いっぱい 》 	<p>[めざす教師像]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自ら学び、創意工夫して指導の充実を図る教師 ○ 子どもに寄り添い、一人一人を伸ばす教師 ○ 家庭や地域との連携を図り、進んで実践する教師
---	---	--

[学校経営ビジョン]

ふるさと川南を愛し、心身ともにたくましい児童を育成するため、「かかわり」と「見届け」を大切に、当たり前のことを当たり前に行える教育を実践する。

- * 児童一人一人を伸ばす教育指導の充実
- * チーム通山小としての協働実践の推進
- * 家庭・地域との相互信頼に基づいた教育環境の充実

確かな学力(頭をきたえる) 《 力いっぱい 》	豊かな心(心をきたえる) 《 やさしさいっぱい 》	健やかな体(体をきたえる) 《 元気いっぱい 》
基礎学力の定着	自他を大切にする 心と態度の育成	基礎体力の向上と 望ましい生活習慣の確立
<ul style="list-style-type: none"> ○ 目・耳・心で話を聞く指導の徹底 ○ 授業づくりのための4つのチェックポイントに基づいた授業改善 ○ 確かな「見届け」の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・授業における学習内容の定着状況の確認 ・「学びの時間」の活用した補充指導 ・家庭と連携した家庭学習の強化(保護者への見届けの協力要請) ○ 読解力に視点を当てた研究の推進 ○ ICT機器(タブレット端末等)を活用した効果的な授業づくりの推進 ○ 学校図書館を活用した読書活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 心のこもったあいさつの実践 <ul style="list-style-type: none"> ・日本一流を目指した取組の工夫 ○ よりよい人間関係づくりと主体的な活動の展開の推進 ○ 自己肯定感を育む指導の推進 ○ 人権意識を高める指導の実践 <ul style="list-style-type: none"> ・人権週間の取組 ・日常指導の工夫 ○ ボランティア活動等、体験活動を生かした道徳教育の推進 ○ 共生社会を目指す特別支援教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運動の習慣化 <ul style="list-style-type: none"> ・朝の「さわやか運動」の継続実践 ・外遊びの励行 ○ 体育学習における活動の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・体力向上プランに基づいた活動の実践と運動量の確保 ○ 望ましい生活習慣の定着化 <ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活リズムづくりの工夫 ・親子の健康意識の向上(「健康家族へ親子でチャレンジ」等) ○ 立腰指導の徹底 ○ 実践的な防災教育等の推進

開かれた学校づくり

学校と家庭・地域が一体となって取り組む教育の推進

- 地域の教育資源の有効活用:・地域の人材・素材を活用した学習の展開 ・地域学校協働活動推進員との連携
- 保護者との連携:・家庭教育学級の活性化 ・PTAの具体的取組の推進 ・おやじの会との連携
- キャリア教育の推進:・地元企業等と連携した授業の開発・実践 ・県立農業大学校との連携推進
 - ・生き方教室の実施
- 幼稚園・保育園及び中学校との連携・交流:・情報の共有 ・連絡会の開催 ・交流活動の推進
- 積極的な情報発信と情報交換:・ホームページや安心メールの有効活用と学校だよりの定期的発行
 - ・民生委員児童委員との連絡会の活用 ・学校運営協議会委員との連携強化

質の高い教育を提供するための業務の効率化(働き方改革)



安心して通える学校 気持ちが通い合う学校 将来に通じる学校

令和4年度 教職員名簿

川南町立 通山小学校

番	担任等・職名		氏名	校務分掌	教科等主任	その他の担当
1	校長		かわのとしひろ 川野 敏広			
2	教頭		のなかりえ 野中 里絵	総務		校務支援
3	教務主任 (理科専科)	教諭	ひだかせいいちろう 日高 誠一郎	教育課程 推進部長	理科主任	教務主任・キャリア教育・地域連携 校内初任者指導教員・校務支援
4	1年	教諭	みやごえじゅんこ 宮越 純子	健康づくり 推進部長	図画工作主任 道徳主任	保健主事 防災教育
5	2年	教諭	かんべみき 神戸 美樹	学力向上 推進部長	生活科主任	研究主任 学力向上推進
6	3年	教諭	やすながふうと 安永 風人	学力向上 推進部	外国語主任 総合的な学習 の時間主任	初任者：拠点校方式
7	4年	教諭	よなはまりん 與那覇 真凜	健康づくり 推進部	体育主任	町研究員
8	5年	教諭	ながともりつこ 長友 里津子	心の教育 推進部長	音楽主任 特別活動主任	生徒指導主事
9	6年	講師	てらむらちよ 寺村 智代	学力向上 推進部	国語主任 書写主任	図書館教育
10	ひまわり (知的)	教諭	いのうえまゆ 井上 真由	心の教育 推進部	算数主任 家庭科主任	環境教育
11	たんぼぼ (自・情)	教諭	こだまこういちろう 児玉 幸一郎	心の教育 推進部	社会科主任	特別支援教育コーディネーター 人権教育・情報教育・安全教育
12	保健室	養護助教諭	うえだかずみ 上田 和美	健康づくり 推進部	給食主任	給食指導
13	事務室	専門主事	かとうとしひろ 加藤 利宏	事務部		事務全般
14		町事務	おおやねえつこ 大矢根 悦子	事務部		P T A 会計・給食会計担当 地域連携
15	学校支援員		くろぎちおり 黒木 千織			特別支援学級担当
16			にしとしこ 西 敏子			特別支援学級担当
17			おばなりえ 尾花 理恵			特別支援学級担当
※	外国語専科 (外国語科・外国語活動)	講師	わだせいこ 和田 聖子			兼務：川南小学校在籍
※	初任者指導	教諭	かねまるやすこ 金丸 康子			兼務：川南小学校在籍
※	町図書事務		こだまみずず 児玉 実涼			兼務：川南小・東小

本校の教育目標

すぐれた知性と 豊かな心を持ち 心身ともにたくましく実践力のある児童の育成

目指す学校像

- 知性を磨き伸ばす学校
- 礼を正し規律ある学校
- 明るく落ち着いた学校

目指す児童像

- 進んで学びよく考える子
- 思いやりのある子
- 明るく健康でやりぬく子

目指す教師像

- 子どもの能力を伸ばす教師
- 授業の改善に努める教師
- 努力を惜しまない教師

学校経営ビジョン

職員一人一人が協働意識をもち、家庭や地域との連携を通して、子どもの側に立った質の高い教育を推進することで、学びへの意欲や自他への肯定感を高めることができる「知」「徳」「体」の調和の取れた児童の育成を図る。

知

- ・基礎・基本の確かな定着
- ・望ましい学習習慣の育成

① 学ぶ意欲の向上

メンター機能を活用した授業力向上研修に継続的に取り組むとともに、特別支援教育の考えを基盤とした指導の充実を図りながら、学校生活アンケートにおいて、「学校で一生懸命に勉強している」と答える児童の割合95%以上の継続を目指す。(R2:96.0%・R3:96.0%)

② 基礎学力の向上

個別指導の充実に努め、基礎的学力の定着を図り、CRTテストで全児童一人一人の向上と全学年全国平均以上を目指す。(R2:国語3/6学年、算数2/6学年達成)
(R3:国語2/6学年、算数2/6学年達成)

③ 読書の習慣化

図書室運営の工夫改善と読書指導の充実を図り、図書貸出総数の目標14000冊以上を継続しながら幅広いジャンルの貸出を目指す。(R2:14451冊・R3:13856冊)

徳

- ・思いやりのある心の育成
- ・基本的な生活習慣の定着

① 思いやりのある子の育成

道徳科の授業の充実を図ることを中心に心の教育の充実を図り、傾聴と見届け、称賛と承認に徹し、学校生活アンケートにおいて「友達に優しくしている」と答える児童の割合95%以上を目指す。(R2:91.0%・R3:95.0%)

② あいさつの習慣の定着

児童の主体的な取組を促す指導や保護者・地域と連携したあいさつ運動の充実を図り、学校生活アンケートにおいて「進んであいさつする」と答える児童の割合95%以上を目指す。(R2:95.0%・R3:86.0%)

③ 楽しい学校生活の保障

いじめはしない、許さないという心を育む指導の充実を図り、学校生活アンケートにおいて「学校が楽しい」と答える児童の割合95%以上を目指す。(R2:94.0%・R3:94.0%)

体

- ・基礎体力の向上
- ・健康増進と食育の推進

① 基礎体力の向上

一人一人の体力の状況の把握に努め、体育科学習の充実及び運動の日常化を図ることで、新体力テストにおいて課題である柔軟性及び握力の向上を目指す。(R2:感染症防止対策により未実施)
(Tスコア50以上の学年R3:0/6)

② よい生活リズムの習慣化

保護者との連携をより強化し、学校生活アンケートにおいて「早寝・早起き・朝ごはん・メディア時間」を実施できていると答える児童の割合90%を目指す。(R2:89.0%)(R3:89.0%)

③ 健康増進の意識の高揚

家庭や関係機関との連携を図りながら計画的に取り組み、健康増進の意識を高め、学校生活アンケートにおいて「健康で安全な生活をしている」と答える児童の割合100%及びう歯治療率80%以上を目指す。(健康R2:97.0%・R3:96.0%)
(う歯R2:66.0%・R3:86.1%)

傾聴と見届け

称賛と承認

傾聴と見届け

称賛と承認

家庭・地域社会との連携

- 学校ホームページや学校便りによる積極的な教育活動の情報発信により、開かれた学校を目指すとともに、コミュニティ・スクールの機能を生かし、連携した活動による諸課題の解決を目指します。
- 児童養護施設(金鈴学園)との連携を図るとともに、家庭、地域社会が一体となった教育活動の充実を図るために、地域人材を活用した学習活動を推進します。

本校の教育目標

すぐれた知性と 豊かな心を持ち 心身ともにたくましく実践力のある児童の育成

目指す学校像

- 知性を磨き伸ばす学校
- 礼を正し規律ある学校
- 明るく落ち着いた学校

目指す児童像

- 進んで学びよく考える子
- 思いやりのある子
- 明るく健康でやりぬく子

目指す教師像

- 子どもの能力を伸ばす教師
- 授業の改善に努める教師
- 努力を惜しまない教師

学校経営ビジョン

職員一人一人が協働意識をもち、家庭や地域との連携を通して、子どもの側に立った質の高い教育を推進することで、学びへの意欲や自他への肯定感を高めることができる「知」「徳」「体」の調和の取れた児童の育成を図る。

知

- ・基礎・基本の確かな定着
- ・望ましい学習習慣の育成

① 学ぶ意欲の向上

メンター機能を活用した授業力向上研修に継続的に取り組むとともに、特別支援教育の考えを基盤とした指導の充実を図りながら、学校生活アンケートにおいて、「学校で一生懸命に勉強している」と答える児童の割合95%以上の継続を目指す。(R2:96.0%・R3:96.0%)

② 基礎学力の向上

個別指導の充実に努め、基礎的学力の定着を図り、CRTテストで全児童一人一人の向上と全学年全国平均以上を目指す。(R2:国語3/6学年、算数2/6学年達成)
(R3:国語2/6学年、算数2/6学年達成)

③ 読書の習慣化

図書室運営の工夫改善と読書指導の充実を図り、図書貸出総数の目標14000冊以上を継続しながら幅広いジャンルの貸出を目指す。(R2:14451冊・R3:13856冊)

徳

- ・思いやりのある心の育成
- ・基本的な生活習慣の定着

① 思いやりのある子の育成

道徳科の授業の充実を図ることを中心に心の教育の充実を図り、傾聴と見届け、称賛と承認に徹し、学校生活アンケートにおいて「友達に優しくしている」と答える児童の割合95%以上を目指す。(R2:91.0%・R3:95.0%)

② あいさつの習慣の定着

児童の主体的な取組を促す指導や保護者・地域と連携したあいさつ運動の充実を図り、学校生活アンケートにおいて「進んであいさつする」と答える児童の割合95%以上を目指す。(R2:95.0%・R3:86.0%)

③ 楽しい学校生活の保障

いじめはしない、許さないという心を育てる指導の充実を図り、学校生活アンケートにおいて「学校が楽しい」と答える児童の割合95%以上を目指す。(R2:94.0%・R3:94.0%)

体

- ・基礎体力の向上
- ・健康増進と食育の推進

① 基礎体力の向上

一人一人の体力の状況の把握に努め、体育科学習の充実及び運動の日常化を図ることで、新体力テストにおいて課題である柔軟性及び握力の向上を目指す。(R2:感染症防止対策により未実施)
(Tスコア50以上の学年R3:0/6)

② よい生活リズムの習慣化

保護者との連携をより強化し、学校生活アンケートにおいて「早寝・早起き・朝ごはん・メディア時間」を実施できていると答える児童の割合90%を目指す。(R2:89.0%)(R3:89.0%)

③ 健康増進の意識の高揚

家庭や関係機関との連携を図りながら計画的に取り組み、健康増進の意識を高め、学校生活アンケートにおいて「健康で安全な生活をしている」と答える児童の割合100%及びう歯治療率80%以上を目指す。(健康R2:97.0%・R3:96.0%)
(う歯R2:66.0%・R3:86.1%)

傾聴と見届け

称賛と承認

傾聴と見届け

称賛と承認

家庭・地域社会との連携

- 学校ホームページや学校便りによる積極的な教育活動の情報発信により、開かれた学校を目指すとともに、コミュニティ・スクールの機能を生かし、連携した活動による諸課題の解決を目指します。
- 児童養護施設(金鈴学園)との連携を図るとともに、家庭、地域社会が一体となった教育活動の充実を図るために、地域人材を活用した学習活動を推進します。

令和4年度 川南町立東小学校 職員名簿一覧

No.	職名	氏名	担任等	校務分掌	教科主任	その他の担当
1	校長	後藤田武志				
2	教頭	川越和俊		総務		
3	教諭	長井英臣	理科専科	学習支援部	理科 総合	教務主任、キャリア教育 初期研修指導教員
4	教諭	横山華織	1年	学習支援部	道徳	研究主任、ICT教育 道徳教育推進教師
5	教諭	松原葉子	2年	生徒指導部	算数 生活	人権教育
6	教諭	壹岐乃理子	3年	生徒指導部	社会	生徒指導主事
7	教諭	山下翔太	4年	学習支援部	図工	図書主任 作品募集、掲示教育
8	教諭	緒方沙也加	5年	保健体育部	家庭 外国語	安全教育 外国語教育
9	教諭	児玉章裕	6年	保健体育部	体育	体育主任
10	教諭	島田静代	おすず 学級	学習支援部	国語	特別支援教育コーディネーター 学習支援部副部長
11	講師	黒木しおり	おあぞら 学級	生徒指導部	音楽 特別活動	特別活動主任 音楽主任
12	養護教諭	阪中 葵	保健室 経営	保健体育部		保健主事 給食主任
13	事務主事	本田知香	学校事務	事務部		県費事務
14	町事務	鴨田智子	学校事務	事務部		給食事務、町費 体育館等借用
15	町図書事務	児玉実涼	図書事務	事務部		川南小、通山小との兼務
16	学校支援員	黒木富美子				特別支援学級児の支援

ふるさと川南の教育
 ~ふるさと川南を愛し 未来を拓く 心豊かでたくましい 川南の人づくり~

学校の教育目標
 博愛と開拓の精神を基調として、豊かな心、確かな学力、たくましい体をそなえ、力強く生きる児童の育成

めざす学校像
 あいさついっぱいの学校 落ち着いた学校 家庭や地域から信頼される学校

めざす児童像

やさしい子	かしこい子	たくましい子
<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分から進んであいさつができる子ども ○ 思いやりのある言葉遣いができる子ども ○ 身の回りの整理整頓や片付けのできる子ども 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学び方を身に付け、自分から進んで学習する子ども ○ 自分の考えをもち、積極的に発言したり行動したりできる子ども ○ 復習や予習など家庭学習に自分から進んで取り組む子ども 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自他の生命を大切にできる子ども ○ 運動に親しみ基礎体力を身に付けることができる子ども ○ 規則正しい生活リズムで過ごすことができる子ども

学校の基本方針

【努力事項】 個を大切に、よさや可能性を引き出し、最大限に伸ばす。

- 児童一人一人の特性を大切にし、児童を中心にすえた経営に努める。
- 毎日、毎時の教育活動を充実させる。
- 職員一人一人の思考・創造を大切にし、全員が参画する経営に努める。
- 地域や保護者との連携を図り、信頼と期待に応える経営に努める。
- 地域に開かれた特色ある学校づくりを推進する。

学校経営ビジョン

「日々の積み重ねで 確実な成果を 一つずつ」
 多賀小ならではの教育実践を通して、知、徳、体のバランスのとれた児童を育成し、信頼される学校づくりを全職員で目指す

実現のための努力・実践事項

<p style="background-color: #f0f0f0; border-radius: 15px; display: inline-block; padding: 2px 10px;">知育</p> <p>■目標 確かな学力を育む教育を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 就学前教育との接続及び、小中連携教育の実践 ○ 学校全体での組織的な学力支援体制の構築 ○ ICTの効果的な活用及び読書活動による表現力の育成 ○ 家庭との連携を図った学習習慣の育成 	<p style="background-color: #f0f0f0; border-radius: 15px; display: inline-block; padding: 2px 10px;">徳育</p> <p>■目標 豊かな心を育む教育を推進する。(人権意識の高揚)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 命を大切にする児童の育成 ○ 相手を大切にする児童の育成 ○ 教師の人権感覚育成のための研修 ○ 「ふるさと学習」の充実 ○ いじめ、不登校ゼロをめざす生徒指導の充実 	<p style="background-color: #f0f0f0; border-radius: 15px; display: inline-block; padding: 2px 10px;">体育</p> <p>■目標 健やかな体を育む教育を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体力向上プランを基にした体育の授業を中心とした活動の充実 ○ 日常的な運動遊びの提案 ○ 基本的な生活習慣の徹底及び食育の推進 ○ 疾病治療の促進 ○ 自己管理能力の育成
<p style="background-color: #f0f0f0; border-radius: 10px; display: inline-block; padding: 2px 10px;">特別支援教育</p> <p>■目標 共生社会を目指す特別支援教育を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 個々の実情の把握と必要十分な支援への取組 ○ 生徒指導との連携充実及び関係機関との連携強化 		

家庭・地域との連携（学校運営協議会・地域学校協働本部との連携）

- 「家庭学習の手引き」「身だしなみチェック表」「学校保健委員会の取組目標」等により連携する。
 ◎ 早寝・早起き・朝ごはん ◎ 家庭学習の習慣 ◎ 家読 ◎ 健康教育
- 家庭教育学級、おやし学級や長寿会・G B Aの方々とともに、学校と家庭、地域が一体となった多賀小ならではの特色ある教育の推進・充実を図る。
- 学校便りやホームページの更新、学校評価の結果公表などを通して、開かれた学校づくりに務める。

令和4年度 学級担任及び校務分掌

川南町立多賀小学校

番	職名	氏名	学年等	校務分掌	省令主任等	教科主任	その他	地区
1	校長	つちや 土屋 たかよ 貴代		総括				
2	教頭	ひらの 平野 たかし 崇		総務	コンプライアンス リーダー		パワハラ・セクハラ担当 PTA担当	
3	教諭	よしかわ 吉川 まゆみ	1年	かしこさ 推進部	学習指導 部長	国語 道徳	幼保小連携 道徳推進教員	22
4	教諭	くろぎ 黒木 かずえ 一江	2年	やさしさ 推進部		生活 図工	福祉教育 人権教育	22
5	教諭	はますな 濱砂うらら	3年	やさしさ 推進部		書写 特別活動	環境教育	21
6	教諭	いけうち 池内 しゅんすけ 俊介	4年	やさしさ 推進部	生徒指導 部長 生徒指導 主事	総合的な学習 外国語活動	国際理解	23
7	教諭	こいけ 小池 ゆみこ 祐美子	5年	かしこさ 推進部	学習指導 部長 研究主任	社会 家庭	学力向上 町研究員	21
8	教諭	おがた 緒方 ゆうき 祐樹	6年	たくましさ 推進部	保健体育 部長	算数 体育	視聴覚教育 情報教育	23
9	教諭	もまた 茂又 かおり 香織	2組 自情学 級	かしこさ 推進部	特別支援教育C○	音楽	図書館教育	24
10	教諭	いそなが 磯永 ゆかり	理科専 科 3～6 年	教務部	教務主任	理科	キャリア教育 地域連携C○ 小中連携	21
11	養護教諭	くろずみ 黒住 あやか 文香	全学年	たくましさ 推進部	保健主事		パワハラ・セクハラ担当 給食 衛生管理推進者	24
12	事務主事	ゆぢ 湯地 れいこ 礼子					PTA会計	
13	町事務員	かわの 河野 しょうご 将吾					8:00～15:00	
14	町図書館 業務	こなつみ 小夏美由紀	全学年				月・木曜日勤務 水曜日 奇数月勤務	
15	町 学校 支援員	まちだ 町田 やすこ 泰子	3年 5年				8:00～14:35 水のみ 8:00～ 14:25	
16	校外初期 研修時非常 勤講師	いわみ 岩見 るみ 瑠美	3年				年間10日間	

宮崎県教育基本方針

ふるさと川南町の教育
 ～ふるさと川南を愛し 未来を切り拓く 心豊かでたくましい 川南の人づくり～

【本校の教育目標】
心身ともに健康で、自ら考え、進んで実践できる児童の育成
 「やる気 いっぱい」「やさしさ いっぱい」「元気 いっぱい」

【目指す学校像】
 ○ 明るく活気あふれる学校
 ○ 決まりを守り
 落ち着いた学校
 ○ うるおいのある
 美しい学校

【目指す児童像】
 ○ 進んで学び、
 よく考え工夫する子
 ○ 礼儀正しく、
 思いやりのある子
 ○ 明るくたくましい子

【目指す教師像】
 ○ 使命感と責任感のある教師
 ○ 一人一人の児童をよく理解し
 長所を伸ばす教師
 ○ 研修に励み創意工夫し実践を
 重んじる教師



**学校経営の重点目標
 (笑顔いっぱいの学校・地域)**

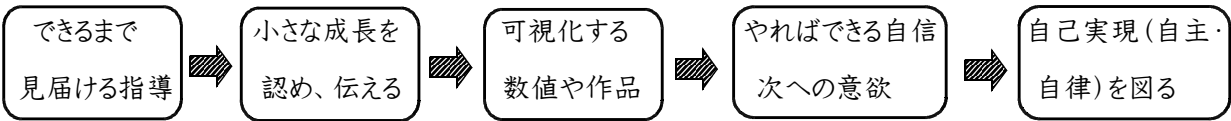


【児童の笑顔】 【教師の笑顔】 スローガン：超山本小学校 【保護者の笑顔】 【地域の笑顔】

<p>重点目標1 確かな学力の定着 (やる気 いっぱい)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「分かった、できた」と児童が自信をもって言える授業改善 ○ 望ましい学習習慣と読解力の育成 ○ 情報モラルを身に付け、ICTを活用できる児童の育成 ○ 特別支援教育・キャリア教育の充実 ○ 町立図書館と連携した読書機会の充実及び新聞等への積極的な投稿促進 	<p>重点目標2 豊かな心の育成 (やさしさ いっぱい)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「山本小当たり前のこと3か条」の指導を中心とした基本的生活習慣の定着 ○ 自他の生命を尊重し、人との関りを大切にする態度の育成(人権・道徳教育の充実) ○ 教育活動全般を通じて、自己肯定感の育成 ○ 「自分の命は自分で守る」安全教育・防災教育の充実 ○ ふるさと川南を愛し、地域に貢献できる児童の育成 	<p>重点目標3 健やかな体の育成 (元気 いっぱい)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体力向上プランに基づき進んで運動に取り組む態度の育成 ○ 体育の学習指導の充実 ○ 健康についての望ましい態度や習慣の育成(健康教育) ○ 食に関する指導の充実(食育) ○ 保護者と連携した生活リズムの確立及び、新型コロナウイルス感染症対策の連携強化
--	---	---

<p>重点目標4 教職員の資質の向上 (組織力向上・自己研鑽)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員キャリアデザインを基に、OJTを生かした自主研修・協働研修の推進 ○ 「チーム山本小」としての組織的協働指導の推進 ○ 働き方改革の推進及びコンプライアンス遵守の徹底 	<p>重点目標5 学校・家庭・地域との連携 (つながり強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 幼保小中連携の推進 ○ 家庭教育力向上 ○ 学校運営協議会を核とした、地域学校協働活動推進と地域教育力の積極的活用
--	--

学校経営ビジョン達成のためのステップ



【自己肯定感】 = 【ありのままの自分をそのまま受け入れること】

令和4年度 川南町立山本小学校 校内組織

No.	職名	担任	氏名	主任等	校務分掌
1	校長		根井 誠		
2	教頭		◆ 三角 勝広 コンプライアンスリーダー	衛生推進者 防火管理者 緑の少年団 青少年赤十字	総務
3	教諭	1年	◆ 西村 理恵	保小連携 体育（体育主任） 生活	健康づくり推進部
4	講師	2年	木下 美和	作品募集 図書館教育（図書主任） 国語・書写	学力向上推進部
5	教諭	3年	河野 安紀	安全教育 防災教育 算数 総合	★ 健康づくり推進部
6	講師	4年	◆ 河野 薫	掲示教育 音楽（4～6年音楽専科）	学力向上推進部
7	教諭	5年	甲斐 尚和	研究主任 情報教育 児童会担当 特別活動 道徳（道徳教育推進教諭）	★ 学力向上推進部
8	教諭	6年	安在 香珠子	国際理解教育 キャリア教育 家庭 外国語活動	心の教育推進部 （研究副主任）
9	教諭	6-2 特支知的	松岡 和幸	生徒指導主事 人権教育 福祉教育 図画工作	★ 心の教育推進部
10	教諭	6-3 特支自情	横山 薫	特別支援コーディネーター 環境教育 社会	心の教育推進部
11	教諭	理専	日下部 英雄	教務主任 地域・小中連携 C4th担当（含HP） 理科 4年後補充（算数）	★ 教務部
12	養護教諭		★ 竹村 彩	保健主事 給食主任 健康教育	健康づくり推進部
13	主事		萩原 和枝	学校事務	事務部
14	事務補助		大矢根 裕子	学校事務補助	事務部
15	図書事務		◆ 小夏 美由紀	図書事務（多賀小兼務）	
16	町会計年度任用職員		◆ 堀江 明美	学校支援員	

令和4年度 川南町立唐瀬原中学校 学校経営方針全体構想

【第二次宮崎県教育振興基本計画】

未来を切り拓く 心豊かでたくましい
宮崎の人づくり

【第2次川南町教育振興基本計画】

ふるさと川南を愛し 未来を拓く
心豊かでたくましい 川南の人づくり

- 法令
- 学習指導要領等
- 県・町の教育基本方針等

【学校の教育目標（目指す生徒像）】

- **自律**：時代の変化を受け止め、自ら考え、判断し、実践する生徒
「川南を支える大人へ」
- **敬愛**：様々な価値観と他者を認め、分け隔てない心をもつ生徒
「口蹄疫を忘れない・感謝」
- **開拓**：困難を強い心と身体をもって、しなやかに生きていく生徒
「発想と可能性で拓く力」

目指す学校像

- ・ 気づき、考え、実践し、進化する学校
- ・ 様々な価値観を認め、思いやりの心に満ち溢れる学校
- ・ 活気に満ち、秩序正しく、誇れる学校

目指す教師像

- ・ 豊かな人間性と教育愛に満ちた教師
- ・ 使命感をもち、自己研鑽に励む教師
- ・ 師弟同行の精神をもち、生徒を裏切らない教師

- 地域の実態
- 学校の実態
- 生徒の実態

挑戦・実行

【学校経営ビジョン】

家庭・地域と連携して、「笑顔」いっぱいの、「生徒が主体となる学校づくり」を推進することを通して、「持続可能な社会の創り手」となる生徒の育成を目指す。

自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓くことができる生徒

- 「気づき」、「思考」、「行動（挑戦、実行、継続）」、「振り返り（自信）」
- 「思いやり」、「共感」、「礼儀」、「感謝」、「協働」、「関わり・つながり」
- 「素直」、「正直」、「誠実」、「目標（夢）」、「自己肯定感」、「笑顔」

思いやり・感謝

努力・継続

笑顔・人権感覚

【全職員で共通理解・共通実践したいこと】

1 生徒との関わりを大切にする。

- 「教師が手本であること」を常に意識して行動する。（「教師は、生徒に影響を与える最大の他者である。」）
- 「生徒の立場や気持ち」になって、生徒一人一人としっかり関わる。（みる、きく、ささえる、ほめる等）

2 チーム（組織）で取り組む。

- 「協働実践」（＝「共通理解」、「共通実践」、「報告・連絡・相談」）を大切にして、互いに助け合って教育活動の充実を目指す。
- 風通しのよい職場づくり（職員間の人間関係づくり）を大切にする。（＋「働き方改革」の推進）
- コンプライアンス意識を徹底する。（教育公務員として、社会人として、同じ職場で働く仲間として）

3 教師としての資質や指導力の向上に努める。

- 自分なりの課題意識をもって、指導方法の改善等に努める。（生徒を「主体的な学習者」に育てるために）
- 生徒が「学び方」を理解し、「思考力」、「読解力」、「表現力・行動力」、「関係構築力」、「自己評価力」を身に付けられる授業づくりを大切にするとともに、各教科等の本質を踏まえた「真正の学び」のある授業を構築する。

【重点取組事項】（「主体的・対話的で深い学び」の創造）

学力の向上	豊かな心の育成	健康・体力の増進	キャリア教育・ふるさと教育の推進	家庭・地域との連携
<ul style="list-style-type: none"> ○ 読解力の育成を図る授業づくり「語彙力」「情報を整理・選択する力（思考力、要約力）」「論理的に説明する力（表現力）」 ○ ICTの積極的な活用と校内研修の充実（ICT活用推進モデル校として） ○ 探究活動の充実 ○ 読書活動の推進 ○ 特別支援教育・個に応じた支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権・同和教育の充実 ○ 言語環境の整備 ○ 命を大切にする教育・情報モラル教育の推進 ○ 道徳教育の充実 ○ 朝の会・帰りの会の充実（表現・振り返り等） ○ 積極的な生徒指導（生徒会活動）の推進 ○ いじめ・不登校への組織的対応 ○ 教育相談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な生活習慣の確立 ○ 食育の充実 ○ 弁当の実践 ○ 体育・健康教育の充実（＋部活動） ○ 持続可能な部活動の運営・地域の指導者との連携 ○ むし歯〇の推進 ○ 薬物乱用防止教育の実施 ○ がんに関する教育の実施 ○ 性教育の充実 ○ 安全教育の推進 ○ 防災教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 進路指導の充実 ○ 「プランニングノート」の活用によるプランニング能力の育成 ○ 「キャリア・パスポート」の活用によるキャリア教育の充実 ○ 地域人材の積極的な活用 ○ 地域活動への協力と地域貢献活動の推進 ○ 国際理解教育・平和教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小中一貫・連携による教育の推進 ○ 開かれた教育課程の創造 ○ 家庭教育への支援とPTAとの連携 ○ ホームページ、メール、各種通信等による情報発信の充実 ○ 学校運営協議会との連携 ○ 新型コロナウイルス感染症への対応（学校の取組・家庭との連携）

令和4年度 川南町立唐瀬原中学校職員名簿(28名)

所属等	職名	氏名	教科	学年主任	学級担任	備考
管理職等 (3名)	校長	日高 亘				
	教頭	郡 守				総務・PTA関係業務担当
	主幹教諭	神崎 雅博	理科			教務担当、女子バレーボール部顧問
1学年 (6名)	教諭	赤木 聡	保体		1-1	保健主事、男子バスケットボール部顧問
	教諭	志岐 明奈	英語		1-2	陸上部副顧問
	教諭	小並 透	社会	○	1-3	男子・女子バスケットボール部副顧問
	教諭	清水 美幸	英語		希望1	柔道部顧問
	教諭	谷山 幸夫	数学			野球部・女子ソフトテニス部副顧問
	教諭	川上 怜	美術			剣道部顧問
2学年 (7名)	教諭	下村 晴美	国語	○	2-1	司書教諭、女子バレーボール部副顧問
	教諭	元水 勇人	数学		2-2	サッカー部顧問
	教諭	本田 優日	英語		2-3	生徒会担当、卓球部顧問
	教諭	佐伯 百合	音楽		希望2	吹奏楽部顧問
	教諭	中村 大輔	技術			生徒指導主事、女子ソフトテニス部顧問
	常勤講師	富永 あゆみ	理科			給食主任、剣道部副顧問
	養護助教諭	門田 靖子				
3学年 (7名)	教諭	佐野 育美	国語	○		卓球部副顧問
	教諭	入江 貴博	数学		3-1	研究主任、女子バスケットボール部顧問
	教諭	浦川 貢史	英語		3-2	生徒会担当、陸上部顧問
	教諭	甲斐 一成	保体		3-3	部活動担当、野球部顧問
	教諭	宇都宮 美和	家庭		未 来	特別支援教育コーディネーター、柔道部副顧問
	教諭	北林 久幸	理科			進路指導主事、吹奏楽部副顧問
	教諭	猪野 祥男	社会			サッカー部副顧問
事務部 (5名)	主任主事	平田 利恵				事務主任
	事務補助(町)	内尾 和恵				
	図書事務(町)	桑野 幸枝				
	スクールサポートスタッフ(町)	田中 真利子				
	学校支援員(町)	森 敬子				

令和4年度 川南町立国光原中学校 学校経営方針

宮崎県教育基本方針 宮崎県教育振興基本計画

ふるさと川南町の教育
ふるさと川南を愛し 未来を拓く 心豊かで たくましい川南の人づくり

本校の教育目標
～ふるさと川南を愛し 自ら学び未来を拓く 心豊かでたくましい生徒の育成～

〈めざす学校像〉

- ・一人一人が存在感のある学校
- ・学ぶ意欲のあふれる学校
- ・先見性と活力のある学校
- ・地域とともに歩む学校

〈めざす生徒像〉

- ・ふるさとを愛し、貢献することができる生徒
- ・希望や信念をもち、その実現に努力する生徒
- ・心豊かで、しなやかさのあるたくましい生徒
- ・知的好奇心にあふれ、学び続ける生徒

〈めざす教職員像〉

- ・生徒と共に学び続ける教職員
- ・生徒と夢を語り、確かな力を付ける教職員
- ・生徒の心に寄り添い、気づき、動き、見届ける教職員
- ・生徒の手本となり、尊敬される教職員

本年度の重点努力事項

- (1) 確かな学力の定着
- (2) 豊かな心の育成
- (3) 健やかな体の育成
- (4) 地域と連携した教育の推進

具体的な取組事項

(1) 確かな学力の定着

- 授業力の向上
- 読解力の向上
- 宮崎大学との連携
- ICTの活用
- 読書活動の推進

(2) 豊かな心の育成

- 道徳教育の充実
- 人権教育の推進
- いじめ防止基本方針に基づいた取組の充実
- 特別支援教育の充実

(3) 健やかな体の育成

- 望ましい態度や習慣の育成
- 健康教育の充実
- 安全教育の推進
- 適正な部活動の推進

(4) 地域と連携した教育の推進

- 積極的な情報発信
- 地域人財（人材）との連携
- 地域と学校との協働
- ふるさと学習の推進
- PTA活動の充実

教職員の資質向上

- 研修の充実
- 職員間の連携・協力的な人間関係、協働
- コンプライアンスの遵守
- 働き方改革の推進（業務量の適正化、風通しの良い職場環境）

令和4年度 川南町立国光原中学校 職員名簿

職名	氏名	担当学年	担当教科等	分掌等	部活動
校長	小野 智充				女子バスケットボール
教頭	由浅 公章		技術	総務	
教諭	菊池 克紀	1年A級	理科	第1学年主任・研究主任	美術部
指導教諭	植野 勝代	1年B級	英語	人権教育・道徳主任	女子バスケットボール(副)
教諭	二見 由衣	1年副担	数学	視聴覚教育・生徒会	吹奏楽部(副)
教諭	田崎 泰功	2年A級	理科	第2学年主任・部活動	男子バスケットボール
講師	河野 桃子	2年B級	音楽	生徒会・文化祭	吹奏楽部
教諭	下川奈緒子	D 級	英語	特別支援教育コーディネーター	女子ソフトテニス
教諭	西田 洋	2年副担	社会	生徒指導主事	女子バレーボール
教諭	甲斐真奈美	3年A級	数学	第3学年主任・安全指導	女子バレーボール(副)
教諭	中里 美紀	3年B級	国語	進路指導主事・進学主任	男・女ソフトテニス(副)
教諭	葭田 恭平	C 級	数学	ICT教育	軟式野球
主幹教諭	原口 朗	3年副担	保健体育	教務主任	男子ソフトテニス
教諭	田中 攝		美術	掲示教育	美術部(副)
養護教諭	矢野奈都美	1年副担	保健担当	保健主事・給食主任	
専門主事	那須 弘幸		学校事務	事務部	
会計年度講師	日高 和孝		社会・英語		
会計年度講師	日高 潤		国語		
町職員	橋口ひろみ		学校事務	事務部	
図書事務	桑野 幸枝		図書事務		
スクールカウンセラー	岩切 隆志		教育相談		
A L T	ジェフリー・ゴードン・ライケルト		英語		

令和4年度 川南町立小・中学校研究主題

	学 校 名	研 究 主 題	研究領域	備 考
1	川南小学校	児童が「分かる！できる！やってみよう！」と 感じる授業の創造 ～ テーマに基づいたチームでの授業改善を通して ～	全教科	
2	通山小学校	児童の「主体的・対話的で深い学び」を助ける指 導法の究明 ～ 国語・算数におけるリーディングスキルの 定着をめざした指導とICT機器の活用を通して ～	国語科 算数科	
3	東小学校	意欲と自信をもち共に学び合う児童の育成 ～ RS及びICTを活用した指導法の改善 ～	全教科	
4	多賀小学校	「言葉を知る・使う・使いこなす」 ～ 読解力を高めるために、児童が主体的に取り 組むための手立てを探る ～	全教科	
5	山本小学校	確かな学力を育む授業づくり ～ リーディングスキルの視点を取り入れた授 業改善を通して ～	全教科	
6	唐瀬原中学校	主体的に学習に取り組む生徒の育成 ～ ICT機器の効果的な活用を通して ～	全教科	
7	国光原中学校	生徒一人一人の確かな学力の向上を目指して ～ 読解力の育成を通して ～	全教科	

令和4年度「川南町ニューフロンティア教育研究会（NF教育研究会）」実施計画書

令和4年4月13日
川南町立小・中学校校長会

1 趣 旨

(1) 目指す児童・生徒の姿～川南町教育基本方針から～

- ア ふるさと川南を愛し、先人から伝わる融和と開拓精神をもち、「人との絆」を大切にしながら、人としての在り方・生き方の基となる豊かな情操や寛容の心、道徳心や公共の精神といった「心の豊かさ」を備えた児童・生徒
- イ 自らの資質や能力を磨き、夢や希望をもって、その実現に向けて挑戦し続ける「しなやかさ」や「たくましさ」を備えた児童・生徒
- ウ 生涯にわたって学び続け、「自然と調和した、輝くまち新生かわみなみ」を創造し、飛躍・発展させることができる児童・生徒

(2) 本町児童・生徒の課題

確かな学力の定着・向上が重要な課題であり、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得や課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の能力の育成を図る必要がある。この中でも特に、学習への理解を深めるための基盤となる読解力の育成が急務である。また、各学校に導入しているデジタル教材の更なる有効活用を図るために、積極的なICT教育に取り組む必要がある。

さらに、例年行っている「ふるさと川南の教育に関する調査」からは、小学校においては「自己肯定感の育成のための手立て」、中学校においては、「地域貢献への意識付けを図るための手立て」が必要であるという結果が出ている。

(3) 課題解決の手立て

川南町教育基本計画の策定・実施を受け、町内各小・中学校の伝統・地域性等を尊重した上で、7校が目標・実践内容を共有し、連携して課題に取り組む必要がある。

本町では、「川南町ニューフロンティア教育研究会」を平成14年度にスタートさせ、平成24年前後に現体制に近い形で組織・運営を確立させながら課題解決に長年取り組んできている。しかし、各学校における教育課程の編成・実施・評価、日常の学習指導や家庭や地域との連携、教職員の資質向上等さまざまな課題の解決が引き続き望まれているところであり、学習指導要領の趣旨を踏まえ、様々な教育活動への対応が求められている。

そこで本年度は、これまで積み上げてきた成果を継承するとともに、小・中学校の連携並びにコミュニティ・スクール制度（学校運営協議会制度）との連携を強化する。また、これからの時代に求められている資質や能力の育成を図るためにICT教育部会及び英語教育部会を含めた、より効果的な組織体制の構築、実践内容等の評価をもとにした新たな実践を進める必要がある。本研究会を充実させていくことは、国際社会共通の課題であるSDGs（持続可能な開発目標）の目標4にある「質の高い教育の提供」につながり、本町がめざす「未来を担う人材を育む教育の推進」が図られ、ひいては川南町全体の教育の質的向上に資するものであると考える。

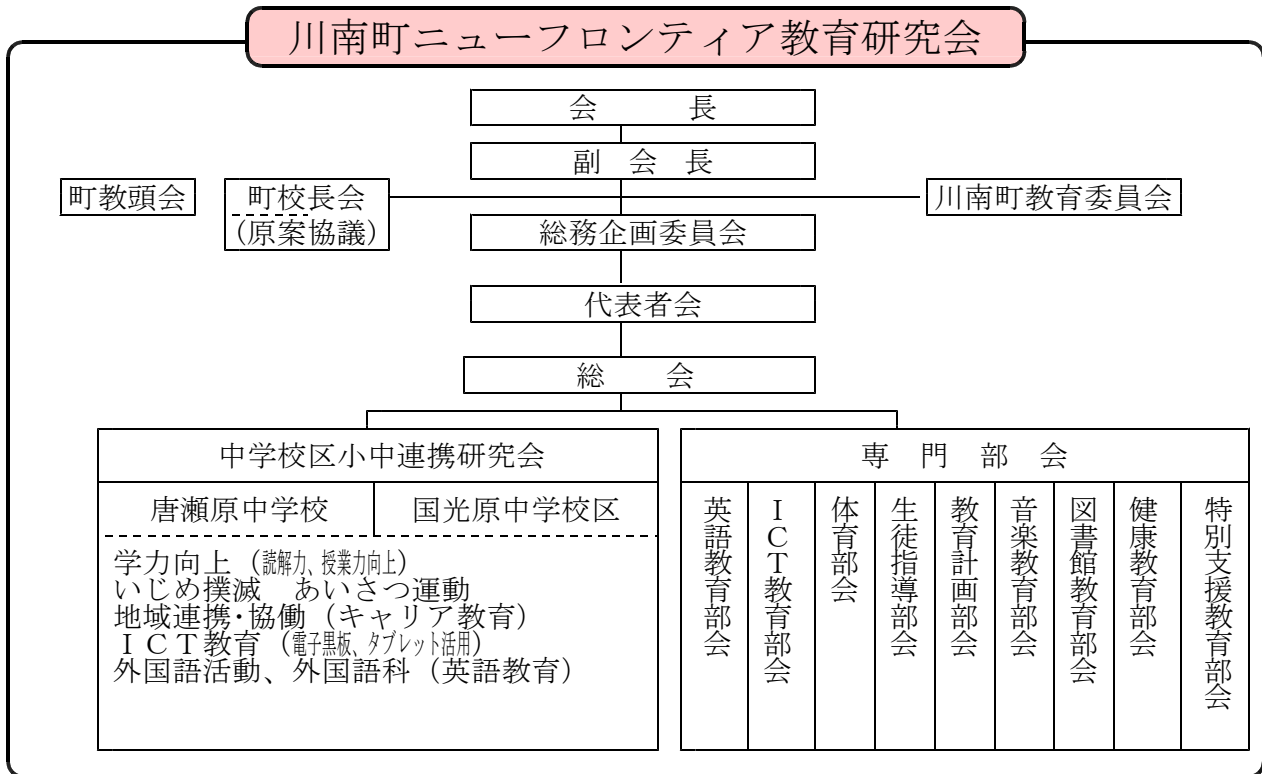
2 研究実践内容

- (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた創意ある教育課程の編成・実施に関すること。
- (2) 学力向上、心の教育の充実、体育・スポーツの推進に関すること。
- (3) 文化・芸術活動や特別支援教育の推進に関すること。
- (4) 教職員の授業力向上に関すること。
- (5) 家庭や地域との連携・協働に関すること。

3 会の組織

- (1) 総会
- (2) 代表者会
- (3) 中学校区小中連携研究会
- (4) 専門部会
- (5) 総務企画委員会

4 組織図



5 各組織の構成員等

委員会・部会等名	参加数	構 成 員
総務企画委員会 ※定例校長会の際に開催	10	会長（代表校長）副会長（町校長会会長） 各専門部会等会長（各校長） 顧問（教育長）教育委員会担当（教育対策監・指導主事）
代表者会（年2回）		川南町各小・中学校代表・川南町教育委員会等
総会	全職員	川南町各小・中学校教職員・川南町教育委員会等
唐瀬原中学校区小中連携研究会	関係校全職員	会 長：当番校長（山本小→唐瀬原中→川南小→東小） 副会長：当番校以外の校長 全職員参加 ※ゴシック：本年度当番校
国光原中学校区小中連携研究会	関係校全職員	会 長：当番校長（国光原中→通山小→多賀小） 副会長：当番校以外の校長 全職員参加 ※ゴシック：本年度当番校
専門部会（9部会）		会長（各校長及び教頭）、各学校担当者

6 総務企画委員会

<p>NF 総務企画委員会（町校長会の中で開催）</p> <p>〈運営組織〉 会長 校長 計7名 顧問 教育長（担当…教育対策監・指導主事）</p> <p>〈会務〉 1 計画・運営の検討 2 予算の配分 3 計画書・報告書の内容協議 4 予算書・決算書の内容協議 5 教育講演会の企画</p>

<p>事務局 多賀小学校</p> <p>〈組織〉 会長 事務局校校長 事務局長 会長校教頭</p> <p>〈会務〉 1 運営計画の企画立案、説明 2 予算案の作成、管理・執行 3 計画書・報告書の取りまとめ 4 予算書・決算書の取りまとめ 5 報告書等の印刷・製本・配付 6 教育講演会の運営</p>
--

7 各専門部会 部会長（校長）及び主任（教諭等）

部会名	出席者	部会長	理事長（学校）	主な内容
教育計画部会	教務主任	通山小	神崎雅博（唐中）	教育課程の編成・実施・評価
音楽教育部会	音楽主任	通山小	（ ）	レインボーフェスタの企画・運営
図書館教育部会	図書主任	国光原中	山下翔太（東小）	読書活動 コンクール審査
健康教育部会	養護教諭	東小	矢野奈都美（国中）	健康教育の推進
特別支援教育部会	特別支援学級担任	川南小	島田静代（東小）	校外学習の企画・運営
生徒指導部会	生徒指導主事	唐瀬原中	中村大輔（唐中）	共通実践事項の検討・実施
体育部会	体育主任	山本小	田中健斗（川小）	陸上記録会の企画・運営
ICT教育部会	ICT担当	東小	（ ）	小1～中3を見通したスキル定着
英語教育部会	外国語主任	唐瀬原中	浦川貢史（唐中）	発達段階に応じた理解させたい学習内容

※部会長は、総務企画委員会で決定する。

※部会長は、必要に応じて事務局を置き、その職を教頭に担わせることができる。

※主任（理事長）の決定は、輪番制があるものはそれに準じ、ないものは総務企画委員会で決定する。

8 中学校区小中連携研究会

(1) 実施日時及び内容は、総務企画委員会と協議した上で、担当校が決定する。

(2) 基本的に、午後の時間帯、授業公開、協議、講演等とする。

(3) 授業公開数は、担当校の実情に応じて決定する。

(4) 授業内容については、本町児童・生徒の課題である学力向上（特に読解力）に関するものとする。さらに、「地域連携・協働」「外国語活動・外国語科・英語」「ICT教育」等についても取り組むこととする。

9 年間活動計画

時 期	内 容	備 考
4月 13日	総務企画委員会 役割分担及び本年度の活動内容等の検討	(校長会)
5月 11日	第1回代表者会 各部会及び研究会打ち合わせ ○活動計画作成 ○収支予算書作成	各部会長（校長）及び各部主任 部会ごとに実施 部会長が計画 事務局校（東小）へ提出（5月末）
5月 下旬	補助金申請（本年度は繰り越し0から始める）	事務局校 校長会時に手交
6月～2月	各研究会における活動及び予算の執行	各中学校区別研究会（授業公開等） 国中校区：1学期 国光原中 唐中校区：2学期 東小
8月 19日	川南町NF教育研究会総会 教育講演会 講師 氏 未定	※登校日 全教職員 川南町教育委員会
2月 上旬	活動報告・決算報告作成、書類提出 各専門部会、中学校区研究会	補助金執行残金回収 実施報告書・決算書作成 事務局校へ提出（2月末）
2月 下旬	第2回川南町NF教育研究代表者会 活動報告及び次年度に向けた協議	各部会長（校長）及び各部主任
3月 上旬	総務企画委員会 次年度への課題の整理、改善点の検討	



川南町立川南小学校

創立 明治33年 住所 川南町大字川南13493番地1 電話 0983-27-0004

校長 小島 信二

教育目標 **全力一心「自ら学び、心豊かに、やさしく、かしこく、たくましく生きる児童の育成」**

児童数(人)

1年	58
2年	51
3年	60
4年	78
5年	66
6年	73
合計	386

全教職員数 41人
PTA戸数 268戸数



町内で一番大きな学校です。子どもたち一人一人の想いや願いを大切にし、学校・家庭・地域が一体となり、地域と共に歩む学校づくりに努めています。

特色ある教育活動



社会福祉体験学習



あいさつ元気隊・応援隊



よのなか教室



ふれあい参観日(もちつき)



川南町立通山小学校

創立 明治2年 住所 川南町大字平田6383番地 電話 0983-27-0847

校長 川野 敏広

教育目標 **心身ともにたくましく、自ら学び続ける力をもった児童の育成**

児童数(人)

1年	27
2年	27
3年	21
4年	25
5年	36
6年	30
合計	166

全教職員数 17人
PTA戸数 127戸



子どもたちの朝のあいさつ運動やボランティア活動も活発です。家庭・地域と力を合わせ、子どもたちの「頭・心・体」を鍛え、笑顔あふれる学校づくりに努めています。

特色ある教育活動



小中合同クリーン作戦



郷土の食文化教室



生き方教室



農大体験学習



川南町立東小学校

創立 昭和23年 住所 川南町大字川南21909番地1 電話 0983-27-0101

校長 後藤田 武志

教育目標 **すぐれた知性と豊かな心をもち 心身ともにたくましく 実践力のある児童の育成**

児童数(人)

1年	13
2年	17
3年	18
4年	16
5年	23
6年	25
合計	114

全教職員数 16人
PTA戸数 71戸



もちつきやいもほり等の様々な体験活動や奉仕作業等の地域貢献を通して、知・徳・体のバランスの取れた教育を行いながら、地域と協働した学校づくりに努めています。

特色ある教育活動



地域貢献活動



田植え(5年生)



もちつき体験



いも植え(1・2年生)



川南町立多賀小学校

創立 明治41年 住所 川南町大字川南15113番地2 電話 0983-27-0234

校長 土屋 貴代

教育目標 **博愛と開拓の精神を基調として、豊かな心、確かな学力、たくましい体をそなえ、力強く生きる児童の育成**

児童数(人)

1年	5
2年	10
3年	12
4年	14
5年	16
6年	11
合計	68

全教職員数 14人
PTA戸数 47戸



「地域ふれあい活動」や「多賀ふれあいフェスタ」など多くの方々との交流をとおして、地域の文化拠点としての学校づくりに努めています。

特色ある教育活動



かんかん踊り



田植え



地域ふれあい活動



多賀ふれあいフェスタ



川南町立山本小学校

創立 昭和22年 住所 川南町大字川南17741番地 電話 0983-27-0814

校長 根井 誠

教育目標 **心身ともに健康で、自ら考え、進んで実践できる児童の育成**

児童数(人)

1年	12
2年	10
3年	15
4年	15
5年	13
6年	11
合計	76

全教職員数 16人
PTA戸数 50戸

小規模校ならではのきめ細やかな子どもたちへの指導を通して、確かな学力の定着や豊かな心の育成に努めています。



特色ある教育活動



奴踊りの伝承



園児との交流



稲刈り



みどりの少年団活動



川南町立唐瀬原中学校

創立 昭和22年 住所 川南町大字川南19664番地1 電話 0983-27-0044

校長 日高 亘

教育目標 **自律 敬愛 開拓**

生徒数(人)

1年	94
2年	89
3年	97
合計	280

全教職員数 28人
PTA戸数 245戸

「笑顔」いっぱいの、「生徒が主体となる学校づくり」を目指します。



特色ある教育活動



礼法指導教室



社会福祉教育



平和学習



職業講話学習



川南町立国光原中学校

創立 昭和22年 住所 川南町大字川南23566番地1 電話 0983-27-0046

校長 小野 智充

教育目標 **ふるさと川南を愛し 自ら学び未来を拓く 心豊かでたくましい 生徒の育成**

生徒数(人)

1年	38
2年	56
3年	54
合計	148

全教職員数 19人
PTA戸数 135戸

川南の素晴らしい伝統・文化や教育資源を生かして、ふるさと川南を愛し、未来を拓くために自ら学び、自ら行動する力やこれからの社会を「人として」生き抜く力、社会に貢献する気概のある心豊かでたくましい生徒の育成を目指します。

特色ある教育活動



栽培イモ販売活動



生徒会活動



体育大会



文化祭

川南町教育委員会

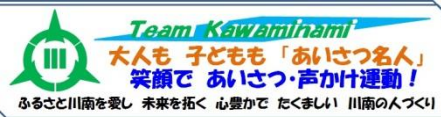
教育委員会組織

教育長 坂本 幹夫
 職務代理者 川添 健一
 教育委員 富山美津子
 教育委員 小嶋久美子
 教育委員 本多 京子

教育委員会事務局

教育課

川南町教育委員会は、「ふるさと川南を愛し 未来を拓く 心豊かでたくましい 川南の人づくり」を目標に掲げ取り組んでいきます。また、学校・家庭・地域が連携し、子どもたちに「生きる力」を育み、「生まれ育ったまち川南」を飛躍・発展させ、「あらたなまち川南」を創造していくことができる人材の育成と生涯にわたって学び続けることができる教育環境づくりを推進します。



学校教育に関する相談窓口

子どもに関する不登校やいじめ、問題行動、学習等、または、学校教育全般に関する相談は、各学校もしくは下記まで、ご連絡ください。

教育課 電話 27-8019

FAX 27-1028

川南町歌

一 日向灘 躍る朝日の
かがやく 光に立ちて
いま拓く みどりの山河
はつらつと 生命は萌ゆる
あゝ川南 伸びゆくところ

二 尾鈴山 つらなるみなみ
陽はみちて 幸は豊に
いざ建てん わが町ここに
清新の 産業息吹く
あゝ川南 興さん共に

三 わきあがる 時代の生氣
海山に ちまたにあふれ
見よ咲かす 文化の花に
躍進の 人の和固し
あゝ川南 栄えよ永遠に





Team Kawaminami

大人も 子どもも「あいさつ名人」
笑顔で あいさつ・声かけ運動！

ふるさと川南を愛し 未来を拓く 心豊かで たくましい 川南の人づくり